

2026.05.18

# 海外安全対策と政府の取組 について

～中東情勢への対応を踏まえて～

外務省 領事局 海外邦人安全支援室長  
錦織 有史



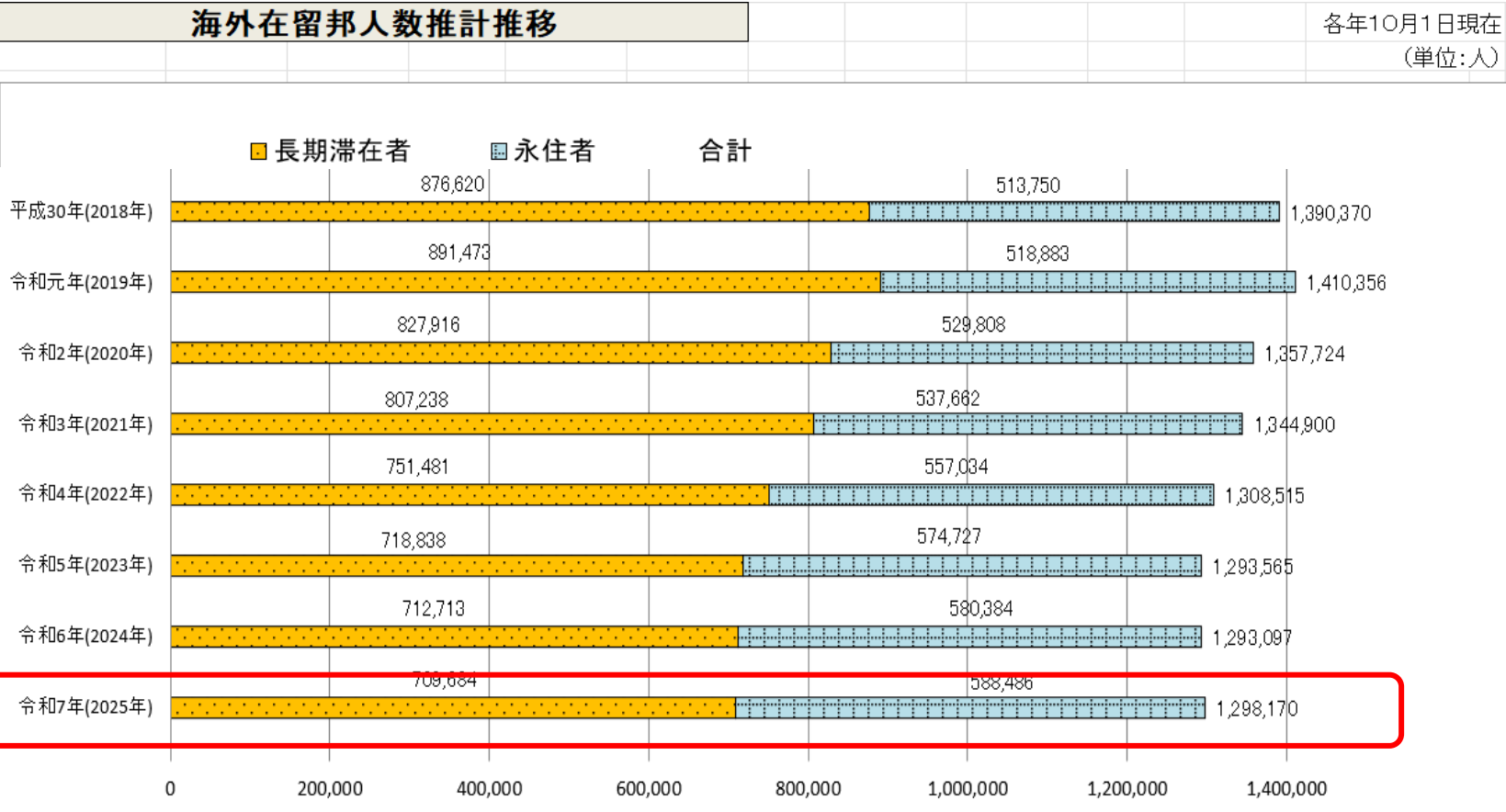
- ① 海外における様々なリスク
- ② 大規模事案と邦人待避
- ③ 個別事案に関わるリスク
- ④ 外務省の取組/  
外務省との協力体制

Contents

# 海外における様々なリスク

01

# 海外在留邦人・海外渡航者数推移①



2025年国別

出典：外務省

順位	令和7年(2025年)		
	国(地域)名	在留邦人数	前年比
1	米国	416,380	+0.7%
2	オーストラリア	105,566	+1.4%
3	中国	92,928	-4.7%
4	カナダ	75,316	-2.6%
5	タイ	72,113	+2.4%
6	英国	62,270	-2.8%
7	ブラジル	49,037	+5.3%
8	ドイツ	44,648	+2.6%
9	韓国	44,471	+3.3%
10	フランス	36,023	-2.8%

- ✓ 2025年10月1日現在の推計で、我が国の領土外に在留する邦人の総数は129万8,170人で、前年（129万3,097人）とほぼ同数。
- ✓ 地域別では、「北米」が海外在留邦人全体の37.9%（49万1,710人）を占め、昭和60年（1985年）以降一貫して首位を維持。次いで、「アジア」（26.8%、34万7,333人）、「西欧」（16.6%、21万5,695人）の順となっていて、これら3地域で全体の約81%を占めている。
- ✓ 国（地域）別では、「米国」に海外在留邦人全体の32.1%（41万6,380人）、「オーストラリア」に8.1%（10万5,566人）、「中国」に7.2%（9万2,928人）がそれぞれ在留していて、これら3か国で全体の約47%を占めている。なお、2023年までは「中国」が2位、「オーストラリア」が3位であったが、2024年に順位が逆転した。

# 旅券手数料の改定(案)

令和8年(2026年)3月  
外務省

- 1 令和8年3月10日、「旅券法の一部を改正する法律案」が閣議決定され、本国会に提出されました。国会での審議を経て同法律案が成立すれば、政令で手数料の額が定められる予定です。新しい手数料の額は、日本時間令和8年7月1日午前0時(現地時間が日本よりも遅れている国外での申請は、申請先の在外公館所在地の現地時間における同時刻)以降の申請分から適用される予定です。改定が決定されれば改めてお知らせいたします。
- 2 手数料の改定に伴い、7月1日以降に申請する方が大幅に増加し、各都道府県の旅券事務所は混雑することが予想されます。申請数が旅券作成可能数を上回る可能性が高く、**7月1日以降の申請は、電子申請でも窓口申請でも、日本国内では申請が受理された日から交付されるまで(通常は約2週間ですが)約1か月を要する**とお考えください(注)。このため、7月に海外渡航を予定している方は、6月までに旅券を受け取れるよう、十分な時間的余裕を持って申請してください。(ただし、7月1日以降に申請する場合であっても、混雑状況によっては1か月かからずに交付できる可能性もあります。)

注: 電子申請で補正等が必要となる場合、申請者による対応が完了するまで審査は中断します。

年齢	旅券種別	現行手数料 (令和8年6月30日まで申請分)	改定後手数料(案) (令和8年7月1日以降申請分)	備考
18歳以上	10年	電子申請 15,900円 窓口申請 16,300円	電子申請 8,900円 窓口申請 9,300円	7,000円 減額
	5年	電子申請 10,900円 窓口申請 11,300円		18歳以上 5年旅券廃止
	残存有効期間同一旅券	電子申請 5,900円 窓口申請 6,300円	電子申請 5,400円 窓口申請 5,800円	500円減額 (18歳未満は申請できません)
18歳未満 (12歳以上)	5年	電子申請 10,900円 窓口申請 11,300円	電子申請 4,400円 窓口申請 4,800円	6,500円 減額
(12歳未満)	5年	電子申請 5,900円 窓口申請 6,300円		1,500円 減額

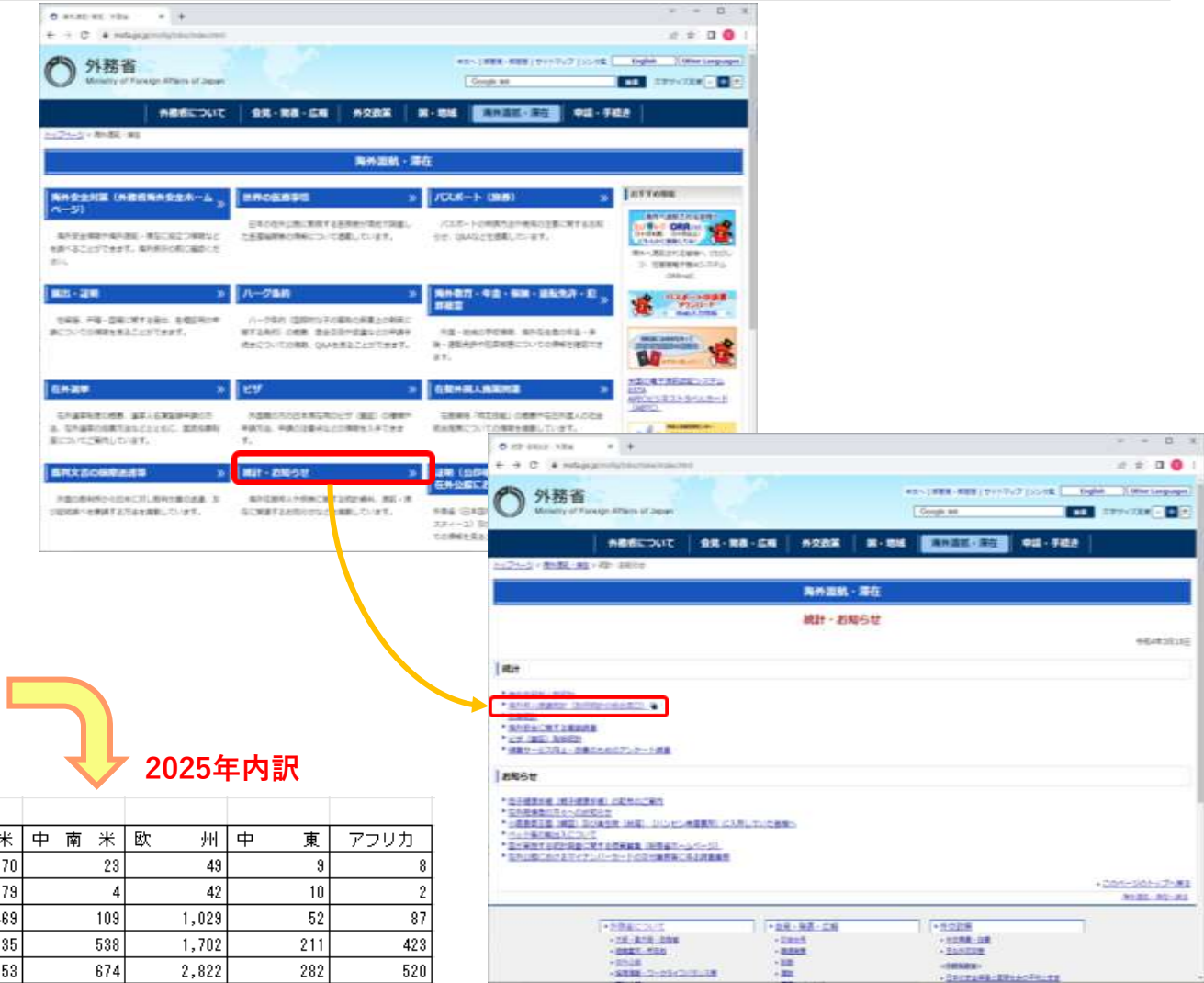
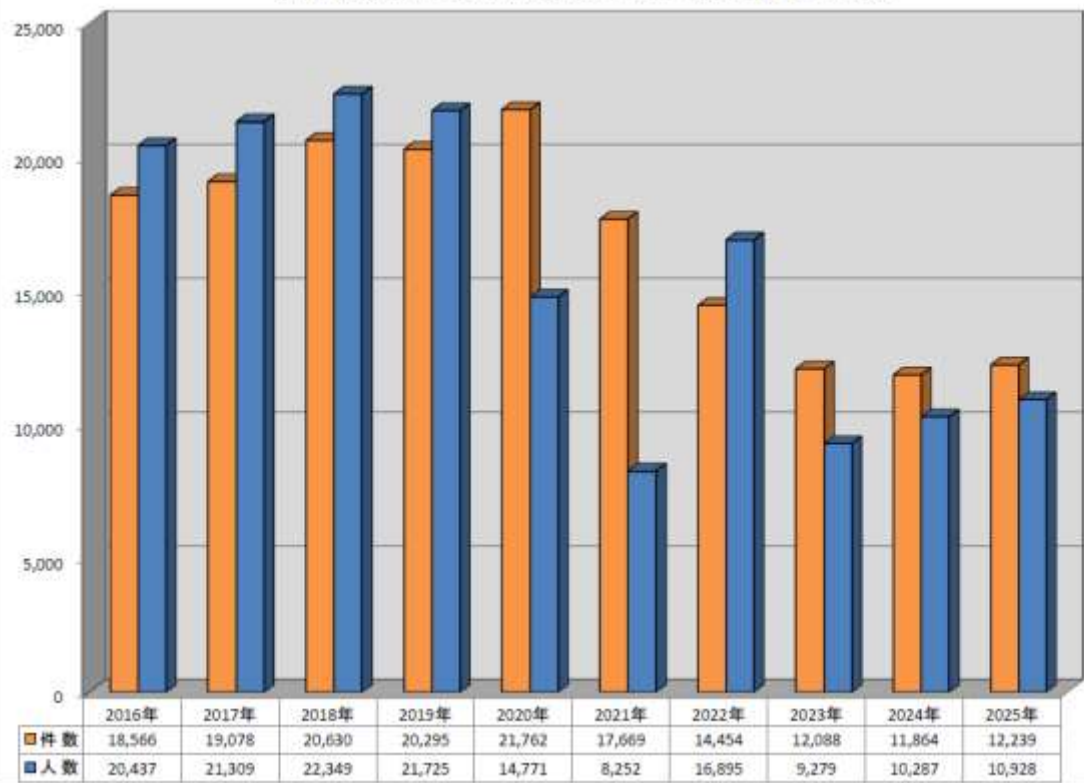


法律案の概要及び案文  
(外務省HP)

※電子申請とは、マイナンバーカードとスマートフォンを利用し、マイナポータルから行うオンライン申請のことです。  
日本国外からは、オンライン在留届(OORネット)に登録して、オンラインで申請を行うことができます。  
※在外公館で申請を受理する場合は、日本から旅券の配送を伴うため、日本国内での申請より更に追加で2週間程度かかります。  
※年齢計算は、法律により、申請者の誕生日の前日の申請手続から1歳加算して取り扱われます。2008年7月1日生まれの方は2026年6月30日申請分から「18歳以上」として取り扱われ、2008年7月2日生まれの方は2026年7月1日申請分から「18歳以上」として取り扱われます。

# 海外邦人援護統計①

邦人援護件数・人数の推移(過去10年間)



＜ 件 数 ＞		内 訳	ア	ジ	ア	大	洋	州	北	米	中	南	米	欧	州	中	東	ア	フリ	カ
	総 件 数																			
事 故 ・ 災 害	335																			
犯 罪 加 害	431																			
犯 罪 被 害	2,543																			
そ の 他	8,930																			
総 数	12,239																			
＜ 人 数 ＞		内 訳	ア	ジ	ア	大	洋	州	北	米	中	南	米	欧	州	中	東	ア	フリ	カ
	総 人 数																			
事 故 ・ 災 害	487																			
犯 罪 加 害	561																			
犯 罪 被 害	2,770																			
そ の 他	7,110																			
総 数	10,928																			



海外邦人援護統計④

Ⅰ. 事故・災害						Ⅱ. 犯 罪										Ⅲ. その他							
						加 害						被 害											
件名	件数	人数	人数内訳			件名	件数	人数	人数内訳			件名	件数	人数	人数内訳			件名	件数	人数	人数内訳		
			死亡	負傷	その他				死亡	負傷	その他				死亡	負傷	その他				死亡	負傷	その他
レジャー・スポーツ事故	40	69	21	19	29	殺人	0	0	0	0	0	殺人	4	5	5	0	0	傷病	573	785	330	90	365
交通機関事故	111	173	15	99	59	麻薬	52	58	0	0	58	傷害・暴行	94	128	0	48	80	精神障害	165	181	0	3	178
自然災害	65	55	0	1	54	傷害・暴行	37	48	0	5	43	強姦・強制猥褻	38	48	0	4	44	自殺・同未遂	48	63	35	5	23
作業事故	3	3	2	1	0	強姦・強制猥褻	17	18	0	1	17	脅迫・恐喝	80	99	0	0	99	困窮	201	228	1	2	225
戦闘・暴動・クーデター	21	73	0	0	73	脅迫・恐喝	7	12	0	0	12	強盗・強奪	122	146	0	43	103	遺失・拾得物	2,290	2,294	0	0	2,294
その他	95	114	24	41	49	窃盗	26	36	0	1	35	窃盗	1,424	1,517	0	3	1,514	被拘禁者援助	166	224	1	0	223
						詐欺	45	78	0	0	78	詐欺	620	645	0	0	645	所在調査	267	310	6	0	304
						外為法・関税法	20	26	0	0	26	テロ	0	0	0	0	0	安否照会	181	210	6	0	204
						出入国・査証関係犯罪	104	135	0	0	135	誘拐	3	10	0	0	10	行方不明	151	169	1	0	168
						道路交通法違反	18	18	0	1	17	その他	158	172	2	4	166	その他	4,889	2,646	98	28	2,520
						売買春	6	9	0	0	9												
						銃刀法	3	3	0	0	3												
						その他	95	120	0	0	120												
計	335	487	62	161	264	計	430	561	0	8	553	計	2,543	2,770	7	102	2,661	計	8,931	7,110	478	128	6,504
※「Ⅰ. 事故・災害」及び「Ⅱ. 犯罪」については、2025年中に発生した新規事案のみ計上。 ※「Ⅲ. その他」については、新規案件及び前年以前からの継続事案を計上。また、「Ⅲ. その他」の「その他」は邦人の安全にかかわる領事メール等の情報発信や、一般的な海外安全対策にかかる相談対応等も計上。																		総 計	12,239	10,928	547	399	9,982

※「Ⅰ. 事故・災害」及び「Ⅱ. 犯罪」については、2025年中に発生した新規事案のみ計上。  
※「Ⅲ. その他」については、新規案件及び前年以前からの継続事案を計上。また、「Ⅲ. その他」の「その他」は邦人の安全にかかわる領事メール等の情報発信や、一般的な海外安全対策にかかる相談対応等を計上。  
※各犯罪には「未遂」と「致死」も含まれる。

・ 海外渡航者数の増加に伴い、海外邦人が当事者となるカテゴリーの件数・人数が増加。

・ 地域別に見た援護案件の特徴は以下のとおり。

→アジアでは、「傷病」（全体の80%）、「犯罪加害」（65%）及び「困窮」（61%）などの援護案件が他の地域に比べ多い。

→欧州では、「窃盗被害」（60%）の援護案件が、他の地域に比べ多い。

→北米では、「所在調査」（47%）の援護案件が、他の地域と比べて多い。

# 大規模事案と邦人退避

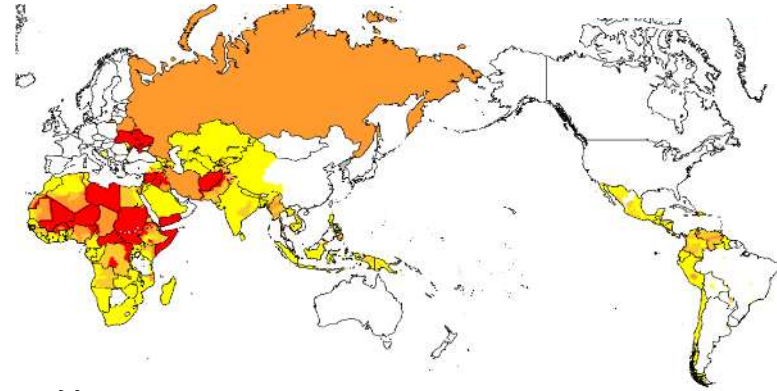
02



# 海外邦人の保護

## 1 総論

- 在留邦人数 : 約 130万人
  - 海外渡航者数: 約1,300万人(2024年)
  - 121か国・地域に危険レベルを設定
- 〔 レベル1: 十分注意してください    レベル2: 不要不急の渡航は止めてください  
レベル3: 渡航は止めてください    レベル4: 退避してください 〕



## 2 邦人退避

- 記録の残る1965年以降、緊急事態における邦人退避は計63件
- 近年の主要な退避事例(一部)
  - ・2026年 3月 イラン、イスラエル及びその周辺諸国(バス、チャーター機、計1,160名)
  - ・2025年 6月 イラン及びイスラエル(バス、計128名)
  - ・2024年10月 レバノン(自衛隊機及びチャーター船、計18名)
  - ・2024年 5月 ニューカレドニア(他国軍用機及び他国チャーター機、計59名)
  - ・2023年 4月 スーダン(自衛隊機、チャーター機及び他国軍用機等計67名)
- 自国民保護に関する協力覚書(韓国、豪州、カナダ、英国、ブラジルと署名済み)



自衛隊機C-2輸送機で退避する様子  
(2023年、スーダン)

## 3 テロ事案

- 2024年のテロ発生件数は全世界で3,492件。発生国数は66か国(前年比8か国増)
- 近年は組織とのつながりが薄い単独犯(ローン・オフエンダー)が「ソフトターゲット」(公共交通機関、レストラン、イベント会場など)を狙う傾向
- 一部の国では邦人が中国人と誤認されてテロの標的となるリスク
- 邦人被害を伴う近年のテロ事案(一部)
  - ・2024年 4月 パキスタン・カラチ(企業関係者1名負傷)
  - ・2019年12月 アフガニスタン・ナンガルハール(人道支援従事者1名死亡)
  - ・2016年 7月 バングラデシュ・ダッカ(JICA事業関係者7名死亡、1名負傷)



自爆テロ犯に襲撃された邦人が乗車していた車両  
(2024年、パキスタン・カラチ)

# 緊急時における在外邦人退避

(騒乱、テロ、自然災害、感染症等の発生を想定)

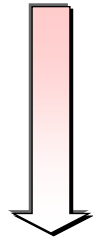
## 事態に応じた的確な対応

### 1. 平時における準備



- 情報収集活動の強化
- 邦人への情報提供・連絡体制の確保

### 2. 邦人の退避が必要となるおそれ



- 外務省海外安全情報の積極的発出
- 邦人の渡航の抑制
- 現地大使館における自主的な退避の勧奨
- 商用定期便による早期退避

### 3. 邦人の緊急退避が必要となる場合 (以下のうち、最も迅速かつ安全な手段を選択)

- 空・海の商用便（臨時便を含む）の利用を促す
- 政府チャーター機・バス・船舶の活用
- 防衛省・自衛隊が保有する航空機・船舶・車両の活用
  - 在外邦人等の保護措置（自衛隊法第84条の3）
  - 在外邦人等の輸送（自衛隊法第84条の4）
- 海上保安庁が保有する船舶の活用
- 非戦闘員退避活動（NEO）を行う友好国や国際機関からの協力を確保

# 緊急事態における邦人退避(退避手段の種類)

## 【チャーター機】

- 最近では、以下の事案の際に邦人等の輸送を実施。
  - ・2023年4月 スーダン内戦: 邦人等48名をジブチから日本まで輸送。
  - ・2023年10月 ハマス等によるイスラエル攻撃:  
邦人8名をイスラエルからUAE(ドバイ)まで輸送。
  - ・2026年3月 イスラエル及び米国とイランとの間の攻撃の応酬:  
邦人等1,104名をマスカット、リヤド、ドバイから計6便で日本まで輸送。



## 【自衛隊機】

- 最近では、以下の事案の際に邦人等の輸送を実施。
  - ・2023年4月 スーダンでの軍事衝突: 邦人等45名をスーダン(ポートスーダン)からジブチまで輸送。
  - ・同年10月及び11月 ハマス等によるイスラエル攻撃: 邦人等計129名をイスラエルから日本まで輸送(計2便)。
  - ・2024年10月 レバノン情勢の悪化: 邦人等計16名をレバノンからヨルダンまで輸送。

## 【バス】

- 2025年6月のイスラエルとイラン間の攻撃の応酬の際に、邦人等計25名をイスラエルからヨルダンまで(計2便)、邦人等計103名をイランからアゼルバイジャンまで輸送(計3便)。
- 2026年3月の米国・イスラエル及びイラン間の攻撃の応酬の際に、邦人計39名をイスラエルからヨルダンまで(計2便)、邦人等計17名をイランからアゼルバイジャンまで輸送(計3便)。国際空港が閉鎖された湾岸諸国で足止めされている邦人等577人をリヤド、マスカットへバスで輸送(計32台)。



## 【船】

- 2024年10月のレバノン情勢悪化の際に、邦人2名をレバノンからキプロスまで輸送。



# 緊急事態における邦人退避

## 退避実績

【事案数】 1965年以降の緊急事態における邦人退避は計63件（記録が残ってるもの）

【退避人数】 邦人及びそのご家族等で合計約5,000名の退避/出国支援を実施

【退避手段】 自衛隊機6回、チャーター機25回、陸路（車両）48回、水路1回、他国による輸送40回

## 過去6年間の主要な退避事例

2026年 3月 （同時 進行）	中東情勢の悪化 （湾岸諸国）	○チャーター機（マスカット、リヤド、ドバイと日本間） ○バス（ドバイ・マスカット間、アブダビ・マスカット間、クウェート・リヤド間、マナーマ・リヤド間、ドーハ・リヤド間、アブダビ・ドバイ間） ○韓国軍用機	計1,104名（計6便） 計577名（計32台） 計3名（計1便）
	中東情勢の悪化 （イラン）	○バス（イラン・アゼルバイジャン間）	計17名（計3台）
	中東情勢の悪化 （イスラエル）	○バス（イスラエル・ヨルダン間） ○カナダ政府手配のバス（イスラエル・エジプト間）	計39名（計2台） 計2名（計2台）
2025年 6月 （同時 進行）	中東情勢の悪化 （イラン）	○バス（イラン・アゼルバイジャン間）	計103名（計3便）
	中東情勢の悪化 （イスラエル）	○バス（イスラエル・ヨルダン間）	計 25名（計2便）
2024年 10月	レバノン情勢の悪化	○自衛隊C-2機（レバノン・ヨルダン間） ○チャーター船（レバノン・キプロス間）	計 16名 計 2名
2024年 5月	ニューカレドニアでの暴動	○豪軍用機、仏軍用機（ニューカレドニア・豪州間） ○仏チャーター機（ニューカレドニア・シンガポール間）	計 59名（計3便）
2023年 10-11月	ハマス等による イスラエル攻撃	○自衛隊KC-767機（イスラエル・日本間） ○韓国軍用機（イスラエル・韓国間） ○チャーター機（イスラエル・UAE（ドバイ）間）	計129名（計2便） 計 51名 計 8名
2023年 4月	スーダンでの内戦	○自衛隊C-2機（スーダン（ポートスーダン）・ジブチ間） その後、○チャーター機（ジブチ・日本間） ○仏軍用機、加軍用機、ヨルダン軍用機、国連手配機等	計 45名 （同上） 計 22名
2020年 1-2月	新型コロナウイルスによる都市 封鎖	○チャーター機（中国（武漢）・日本間）	計828名（計5便）

補足：以上に加えて、退避に至らなかったが、2022年のロシアによるウクライナの侵略時にポーランドでチャーター機を、2024年、2025年のコンゴ民主共和国での政情不安時にチャーター船を手配、待機させ、緊急事態に備えた。



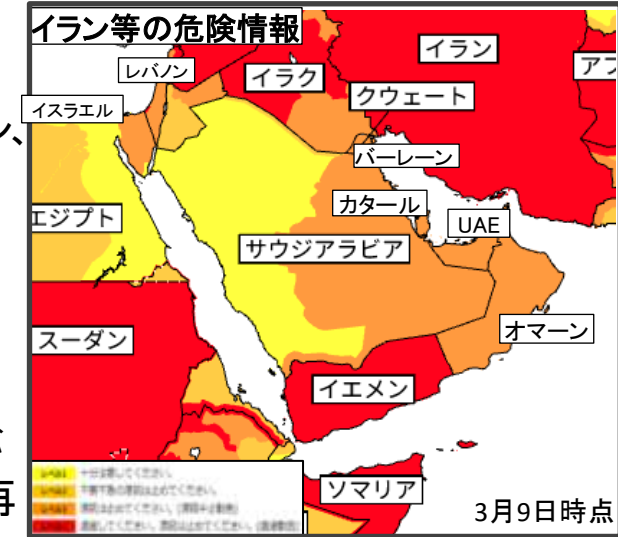
## 1 邦人の状況

現時点で確認された邦人被害なし。

周辺9か国（クウェート、サウジアラビア、バーレーン、カタール、アラブ首長国連邦、オマーン、ヨルダン、レバノン、イラク）のうち、クウェート、サウジアラビア、バーレーン、カタール、アラブ首長国連邦、オマーンに滞在する邦人に対し、出国支援を実施。

## 2 空港の稼働状況等

クウェート、マナーマ（バーレーン）、アブダビ（UAE）、バグダッド（イラク）の空港が一時閉鎖されているものの、ドーハ（カタール）、ドバイ（UAE）において限定的に再開の動きあり。



## 3 邦人保護における現在までの対応

- (1) 3月5日、クウェート、サウジアラビア（東部州）、バーレーン、カタール、UAE、オマーンの危険レベルを3（渡航中止勧告）に引上げ。周辺国からの邦人の出国支援に係る報道発表を発出。
- (2) 3月9日、レバノン、イラクの従来危険レベル2（不要不急の渡航は止めてください）であった地域の全域、並びにヨルダンの従来危険レベル2であった地域の一部の危険レベルを3（渡航中止勧告）に引上げ。
- (3) 3月8日から9日にかけて、UAE（アブダビ・ドバイ）からオマーンの首都マスカット（距離約500km）へ、クウェート、バーレーン、カタールからサウジアラビアの首都リヤド（距離約500-600km）へ、それぞれ陸路による邦人等の出国支援を実施。また、3月8日から3月11日にかけて、マスカット、リヤド、ドバイから日本政府手配のチャーター機により出国支援を実施。

### 日頃の備え

- ◆ **最新の情報を収集。**※定点観測を心がける
- ◆ 家族、学校に**緊急連絡方法**を相談。
- ◆ **在留届**の提出、転居時の情報更新、帰任時の登録抹消。
- ◆ **「たびレジ」**の登録(トランジット先含む)、滞在状況に応じた情報更新。
- ◆ パスポート残存有効期間確認と早期更新。  
※第三国経由の国外退避にも対応
  - ・在外公館で申請した場合、交付まで2週間から1か月程度。
  - ・緊急旅券(非IC)や「帰国のための渡航書」は移動に制限がある可能性も(査証免除非対称、第三国入国不可等)。

### 待避時の対応

- ◆ **最新の情報を収集。**
- ◆ 現地当局からの**指示に従う**。
- ◆ **家族、学校に自身の「安否情報」**を伝える。
- ◆ 滞在先の**在外公館との連絡を確保**し、情報共有・連携を図る。
- ◆ 妊娠に伴う搭乗条件(利用航空会社により異なる)の確認。
- ◆ ペット同行に関する制限(検疫等の理由により同行が困難。政府チャーター機の場合は同行不可)。





# 2026年の見通し

## 主な周年・大型イベント

### 【周年】

- 米国建国(250周年)
- 9.11同時多発テロ(25周年)
- ブリュッセル連続爆破テロ(10周年)
- ダッカ襲撃テロ(10周年)



貿易センタービル  
(NY、2001年)



襲撃されたレストラン  
(ダッカ、2016年)

### 【大型イベント】

- 冬季オリンピック(ミラノ、コルティナ 2月6日～2月22日)
- バングラデシュ・総選挙(2月12日)
- WBC(米国ほか、3月5日～3月17日)
- サッカーワールドカップ(米国、メキシコ、カナダ 6月11日～7月19日)
- 米国・中間選挙(11月3日)



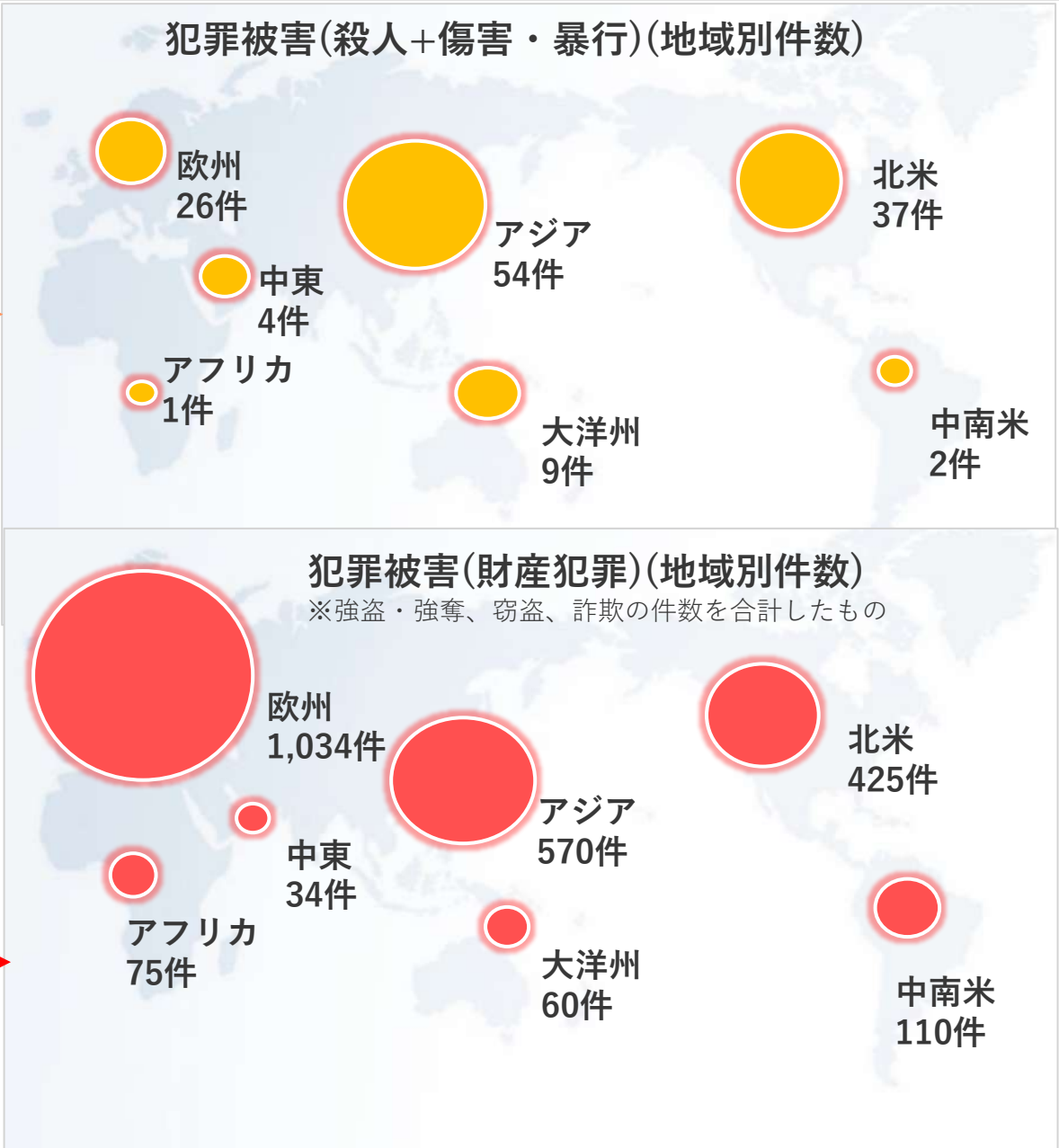
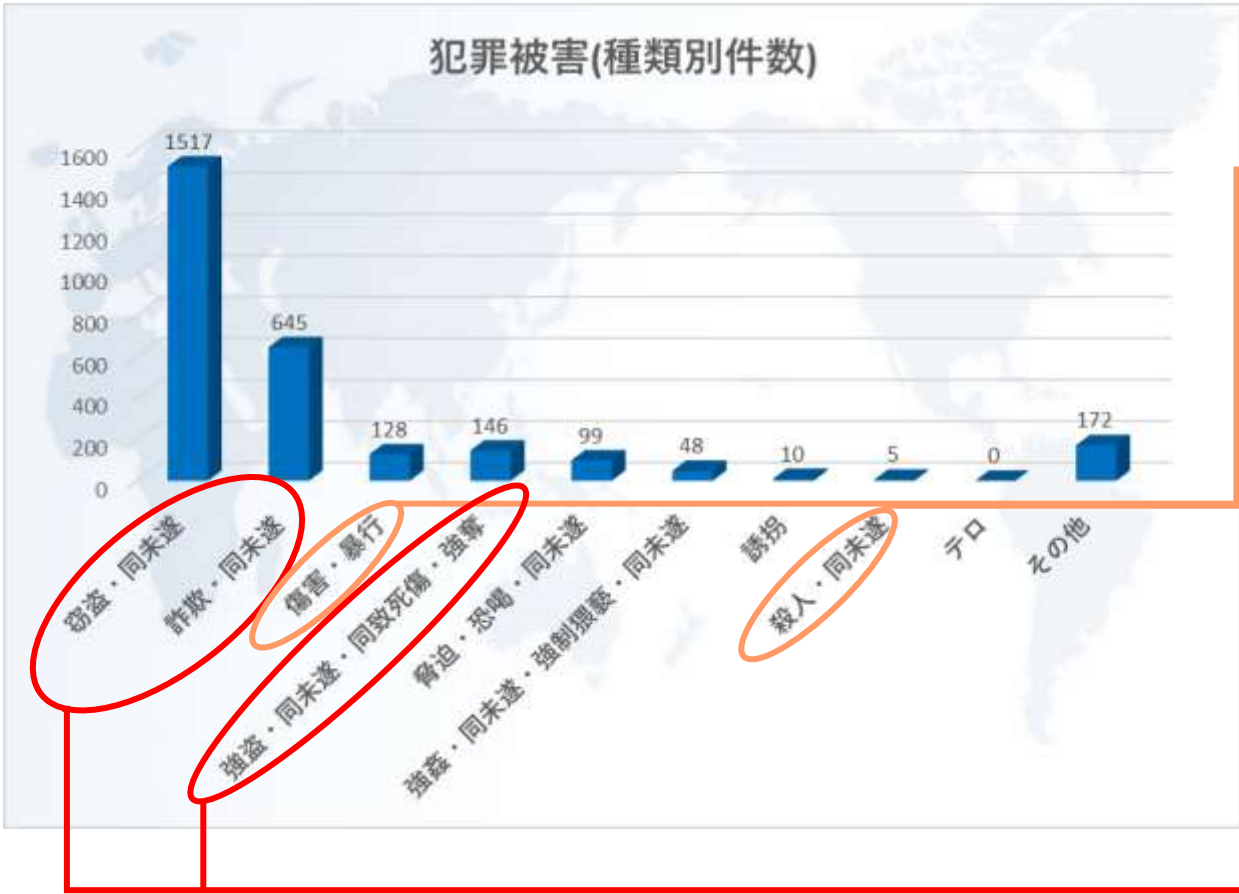
## 留意すべき点

- 周年行事や大型イベントを狙ったテロ、選挙実施等に伴う国内情勢の不安定化に要注意。  
⇒日頃から情報収集に努めるとともに、不安があれば外務省領事局に連絡・相談。
- 大規模テロは約10年の周期で発生するとの見方あり。多数の邦人が被害(7名死亡、1名負傷)を受けたダッカ襲撃テロからちょうど10年。  
⇒この機会に、改めて自社・組織内の緊急事態対応体制の確認・見直しを。
- 自然災害にも引き続き要注意。  
⇒生活インフラが途絶える可能性を念頭に、水・食料等の備蓄品を準備する。

# 個別事案に関わるリスク

03

# リスクと対策：犯罪被害（概要）



# リスクと対策：犯罪被害①

## 対策を準備する：財産被害

### 詐欺

- ✓ 特殊詐欺（非対面で相手に接触し金銭をだまし取る）が海外でも発生。  
→日本国大使館・総領事館職員、日本政府職員（警察官、税関職員等）を騙るケースも。
- ✓ 日本の公的機関が正式な手続によらず送金を要求することはない。  
→身に覚えのない不審な電話、電子メール、SNS等に安易に反応しない。
- ✓ 現地警察、銀行、電力会社等の公共機関等からと诈り、電話、電子メール、SNS等でクレジットカード等の個人情報等を不正に聞き出そうとするケース、ギフトカードのシリアル番号や送金を要求されることも。  
→遭遇した場合、家族や信頼のおける友人等にまず相談を。



### 窃盗（スリ）

- ✓ 空港、駅、観光地及び周辺の路上、電車・バス内等あらゆる場所で、強盗・窃盗被害が発生。  
→発生時間帯も深夜に限らず、白昼に堂々に行われる場合も。  
複数人で行動していたとしても、被害に遭遇。
- ✓ 持ち歩く貴重品は必要最小限にし、分散させて持つ。
- ✓ バッグはしっかり口が閉められるものを出来る限り斜め掛け、身体の前面に。
- ✓ 常に狙われているという危機意識を。



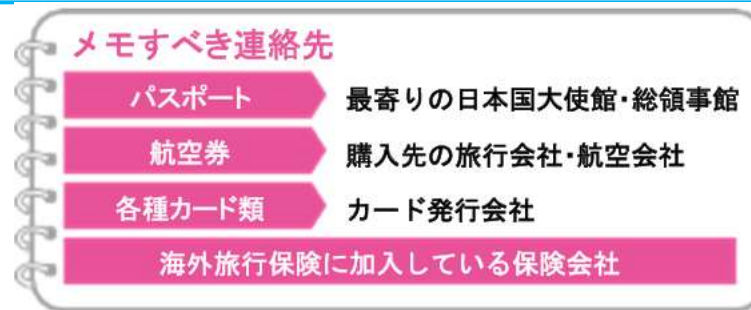
少しでも不安を感じたら、日本国大使館・総領事館に相談を。

# リスクと対策：犯罪被害②

## 遺失物などのトラブル時は

### 盗難や紛失に遭ったら

- ✓ 現地の警察に届け出→被害届の受理書入手。  
※パスポートの発給申請や保険請求等の際に必要。
- ✓ 右図の連絡先は事前に確認し、常に携帯。



### パスポートを紛失した場合

①**紛失届**：パスポートを失効させる手続き、必要書類は以下。

- ・紛失一般旅券等届出書1通（大使館・総領事館で入手可）
- ・警察署の発行した紛失届受理証明書等又は消防署等が発行した罹災証明書等
- ・写真（縦45mm×横35mm）1葉
- ・本人確認書類（運転免許証等）



日本国内及び海外でパスポートに関する申請手続きに通常必要な書類（外務省）

②**新しいパスポート又は「帰国のための渡航書」の発給申請**：必要書類は以下。

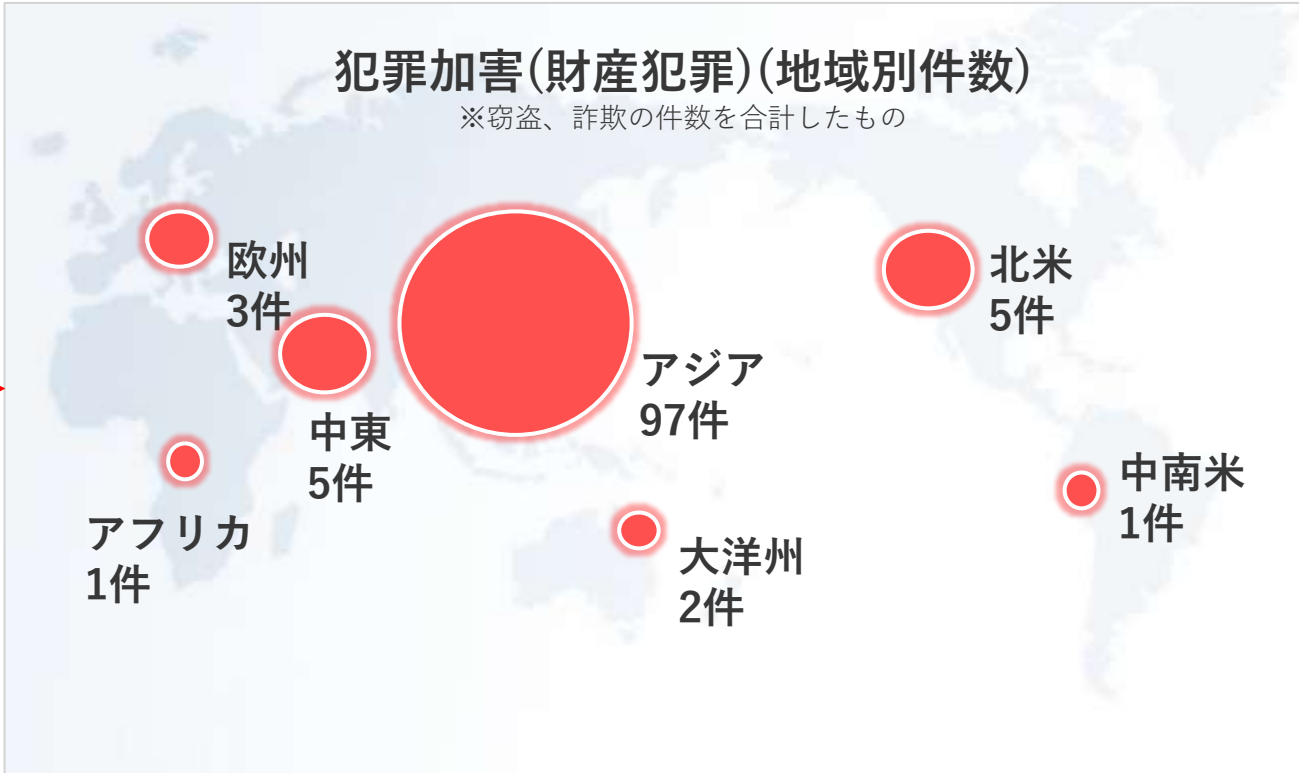
- ・一般旅券又は渡航書発給申請書1通（大使館・総領事館で入手可）
- ・戸籍謄本1通（申請日前6か月以内に発行されたもの）
- ・写真（縦45mm×横35mm）1葉
- ・その他参考書類（帰国日程が確認できる航空券、本人確認・国籍確認ができるもの）



パスポートについて（外務省海外安全ホームページ）



# 概要：現地の法律や習慣に関わるトラブル（犯罪加害を含む）①



出典：2025年海外邦人援護統計



# リスクと対策：現地の法律や習慣に関わるトラブル（犯罪加害を含む）②

## 対策を準備する：現地の法律、習慣に関わるトラブルの例

- 不法滞在/不法入国などの出入国・査証関係犯罪
- 宗教や習慣によるトラブル
- 売買春、麻薬犯罪
- 麻薬に関わるトラブル
- 禁制品や制限品目の持ち込み/持ち出し
- 写真撮影



## 対策を準備する

### 出発前

#### ◆ 正確な把握と理解

- 現地の法律、風俗、習慣
- 査証(ビザ)、出入国審査、税関・検疫手続

※一部の国では、空港職員が所持品のみならず携帯・パソコンの中身を検査する可能性あり。

- 撮影制限、立入禁止区域

### 現地到着後

#### ◆ 「郷に入れば郷に従う」という心がけ。

- 特に、注意不足や悪意がなくても違法行為として逮捕される可能性があること、厳しい罰則が科される場合があることに留意。

- 多宗教、他民族で構成されている国では、それぞれの人が独自の宗教・習慣に基づいて生活していたり、地域によって習慣が異なることにも留意。

#### (参考)ATAカルネ

- 日本商事仲裁協会



- 日本税関



- 日本貿易振興機構(JETRO)



# リスクと対策：現地の法律や習慣に関わるトラブル（犯罪加害を含む）③

## 特殊詐欺事件の注意喚起

広域情報

本情報は2026年05月08日（日本時間）現在有効です。

### 匿名・流動型犯罪グループ（トクリュウ）を含めた犯罪組織による海外における闇バイトに関する注意喚起（加害者にならないために）（その2）

2026年05月01日

#### 【ポイント】

- これまで、特殊詐欺や違法薬物（大麻等）の密輸に関する注意喚起を発出してきていますが、海外における闇バイトに応募し、犯罪組織等に「かけ子」として海外で特殊詐欺に加担させられるケースや、意図せず違法薬物（大麻等）の運び屋として犯罪に加担してしまい、その結果、現地警察に拘束又は保護される事案が引き続き発生しています。
- 違法薬物の密輸は、それが意図的であるか否かにかかわらず所持しているだけでも、国によっては死刑や終身刑といった極刑が科せられます。また、日本の国内法上、海外での違法薬物所持であっても国外犯規定が適用され、処罰の対象となります。海外であっても、各国国内法または日本国内法に基づく犯罪行為に対する刑罰は免れません。
- 犯罪組織は、SNSやインターネット等を通じて「短期間で多額の報酬を得られる」等の甘い誘い文句で「捨て駒」となる実行役を募っています。闇バイトに応募し、一度犯罪に加担してしまうと、「やめたい」と思っても、パスポートやスマホを取り上げられて、犯罪組織の拠点から長期間逃げ出せない状態になるケースも少なくありません。
- 事案の中には、未成年者が海外で特殊詐欺に加担させられるケースも発生しており、犯罪組織内部で暴行を受けるケースもあります。成人、

## フライヤー作成、掲示

**特殊詐欺事件に関する相談窓口のお知らせ**

外務省

加害者にならないために

相談窓口

海外リゾートで  
高収入の仕事があるけど  
楽しく働かないか！？

SNSやオンラインゲーム等を通じて

甘い誘い文句で海外に渡航させ  
犯罪を強要する事案も発生しています

**すぐに 相談！**

海外での特殊詐欺（いわゆる「闇バイト」）に間違ってしまった場合  
一刻も早く家族や知人、警察等に助けを求めてください。  
また、外務省及び現地の日本大使館・総領事館にも遠慮無く御相談ください。

（問い合わせ窓口）  
外務省領事サービスセンター  
住所：東京都千代田区霞が関2-2-1  
電話：（外務省代表）03-3580-3311（内線）2902、2903

在外公館連絡先

- ✓ カンボジアやフィリピンなど、東南アジアにおいて、令和6年度以降日本人が6か国（カンボジア、マレーシア、ベトナム、フィリピン、タイ、ミャンマー）において、計194人が摘発されたとしている。
- ✓ 東南アジアの犯行拠点から国際電話やSNSを悪用した詐欺が行われ、日本人の若者が加害者として関与するケースが後を絶たない。
- ✓ 外務省ではこれまで複数回にわたり、海外における闇バイトに関する注意喚起を行っている他、警察とも連携し、空港、旅券事務所等で注意を呼びかけ。また、現地でも安全対策講習会等を通じた注意喚起を実施。

# リスクと対策：健康

対策を準備する：予期せぬ事態に備え、十分な補償内容の保険に加入を！

カナダにおける出張者の例：

治療費総額

**3,890万円**

カナダで出張者が滞在先ホテルで倒れ、救急車で病院に搬送された。知らせを受けた家族が緊急渡航し、現地にて看病。脳炎と診断され、19日間の入院生活の後、日本へ医療搬送となった。この事案は全額保険適用され、自己負担はなかった。

↓その他、海外旅行保険に加入していたが、高額の自己負担を余儀なくされたケースもある。↓

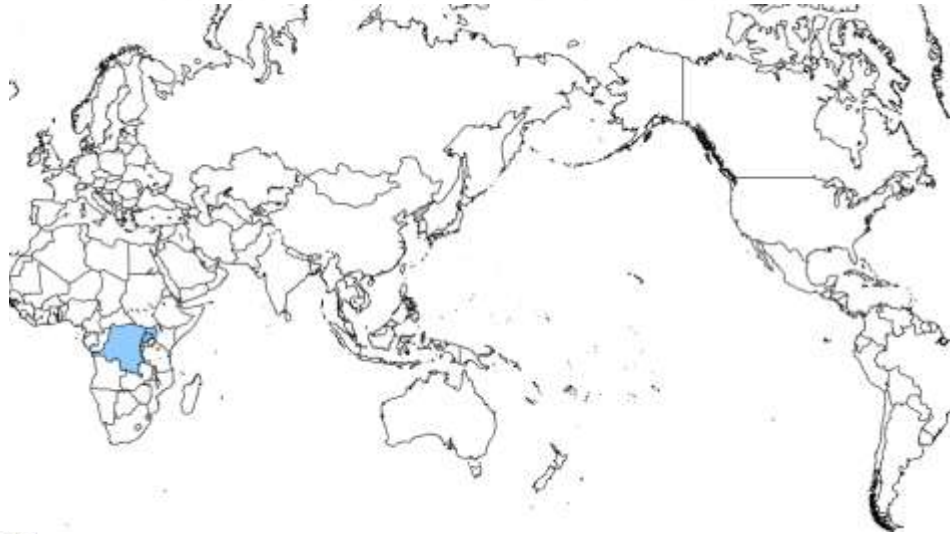
国・地域	症状	救急車	診断	入院	手術	家族	医療搬送	支払保険金
台湾	息苦しさ	○	心筋梗塞	86日間	○	○	○	3,293万円
ハワイ	高熱と脱水	○	敗血症	10日間	○		○	1,405万円
フランス	転倒		大腿骨骨折	10日間	○			731万円
シンガポール	嘔吐、下痢		急性虫垂炎	6日間	○			555万円

## 旅行保険(医療に関する部分)のチェックポイント

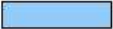



- ▶治療・救援費用の補償限度額
- ▶補償が受けられる医療サービスの範囲
- ▶以前から持っている病気の治療に対して、補償されるかどうか
- ▶妊娠合併症に対する補償の有無
- ▶高リスクの活動(登山など)に関連する健康問題に対する補償の有無
- ▶サポートの充実度
- ▶個人的に立替払いしなくてもよいかどうか(キャッシュレスサービスの有無)
- ▶給付対象となる医療機関

# リスクと対策：感染症

## 外務省が発信する感染症危険情報



凡例：

	「レベル1：十分注意してください。」
	「レベル2：不要不急の渡航は止めてください。」
	「レベル3：渡航は止めてください。（渡航中止勧告）」
	「レベル4：退避してください。渡航は止めてください。（退避勧告）」

### 【注意事項】

- ① 「感染症危険情報」は、皆さんが渡航・滞在する際の判断材料です。感染症危険情報それ自体には、国民の渡航・滞在を制限するような強制力はありません。
- ② 「感染症危険情報」が発出されていない国・地域も安全とは限りません。
- ③ 「感染症危険情報」が発出されても自動的に旅行会社の主催旅行が中止になることはありません。

## ハンタウイルスに対する外務省の取組み

### 1 外務省報道発表（5月11日）

ハンタウイルスへの感染が発生したクルーズ船からの邦人の下船及び英国政府による協力

1. 5月11日（現地時間10日）、スペインのカナリア諸島にて、ハンタウイルスへの感染が発生したクルーズ船「ホンディウス号」から下船した邦人1名が、英国政府手配のチャーター機の余席提供を受け、英国に到着しました。
2. 同邦人は、WHOの推奨に基づき、英国にて、現地保健当局による最大45日間の健康観察等を受ける予定です。なお、同邦人の健康状態に問題はありません。
3. 日本国外務省と英国外務・英連邦・開発省は、本年4月20日に海外における自国民保護についての覚書に署名しています。今回の英国側による協力は、同覚書を踏まえたものであり、署名後初の協力案件です。
4. 本件について、外務省としては、英国当局、内閣感染症危機管理統括庁、厚生労働省等と連携しつつ、邦人保護及び感染症拡大防止の観点から、引き続き、適切に対応してまいります。

### 2 広域情報（5月15日）

#### ハンタウイルス肺症候群に関する注意喚起

#### 1 ハンタウイルス肺症候群について

##### （1）感染経路

主にげっ歯類（ネズミ等）の糞や尿が混ざったほこりを吸い込むことや、汚染された食物の喫食により感染します。限定的なヒトからヒトへの感染も報告されています。

##### （2）症状

ハンタウイルス肺症候群に罹患した場合、発熱、筋肉痛、咳などの症状出現後、急速に進行し、死亡することがあります。

#### 2 注意喚起

（1）海外ではネズミ等のげっ歯類との接触を避けてください。

（2）以下に該当する方は、帰国時に検疫所にお申し出ください。

・南米に滞在歴があり、発熱、咳など体調に異状がある方

・南米での滞在中、ネズミ等のげっ歯類と接触があった方

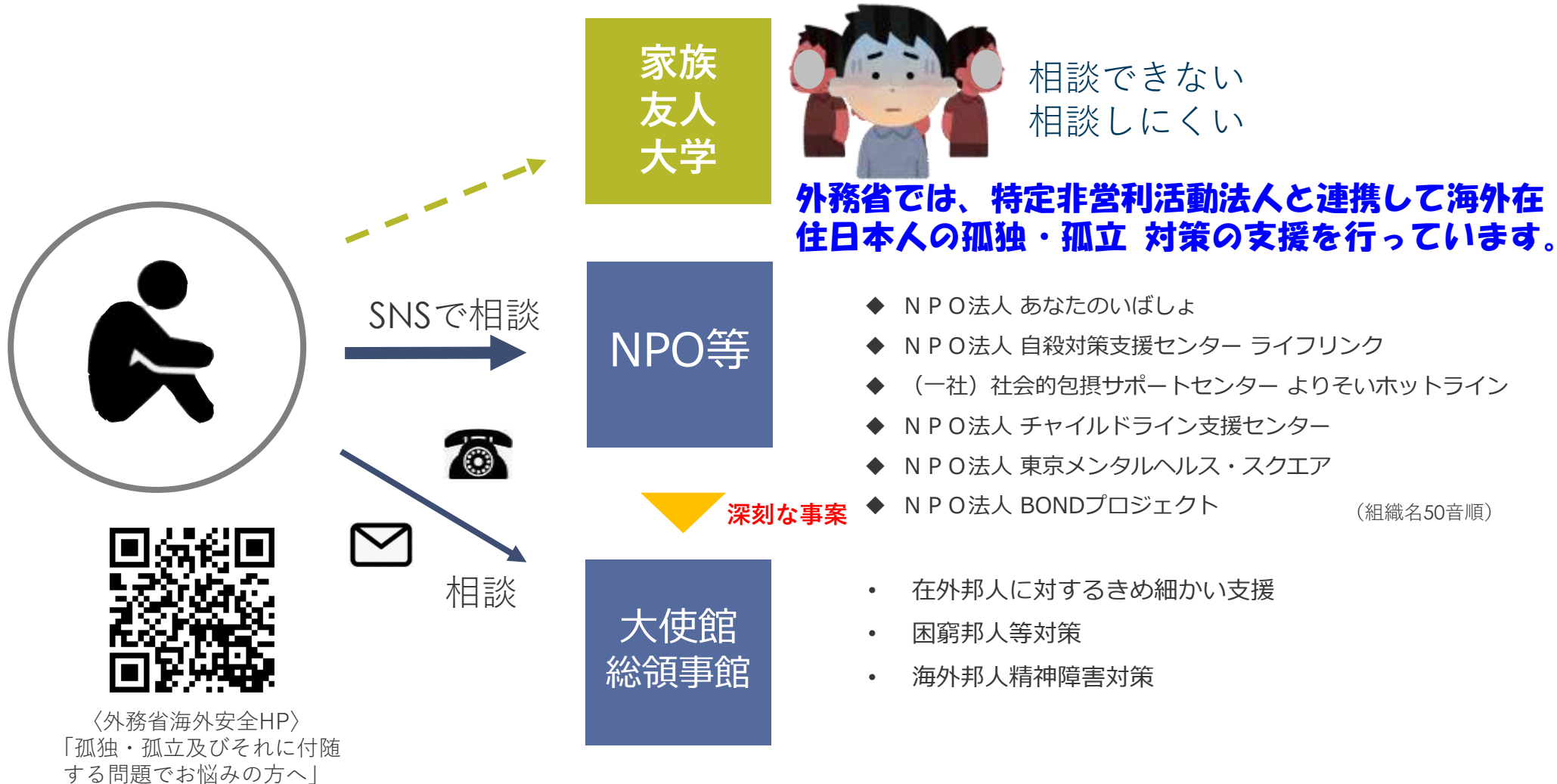
#### 3 本広域情報の対象国・地域

南米



# リスクと対策：健康（孤独・孤立）

環境は人それぞれに違いますが、例えば文化や風習、言葉の壁などで周囲と隔たりを感じる、家族や職場、学校、友人との関係で何かモヤモヤを感じるなど、人には言えない悩みや不安で苦しんでいたら、いつでも相談してみてください。



# リスクと対策：DV

- ✓ 海外におけるDVの問題は、相談できる家族や友人が近くにいないため認知されにくい傾向にある。また、現地警察に相談する際も言語による障壁や事件として扱ってもらえない等の問題点もある。
- ✓ 上記の問題点を踏まえ、在外公館で (1)家族問題に関する相談対応、(2)現地のDV被害者支援団体（一部の国では日本語で対応できる支援団体）の情報提供、(3)相談記録の作成及び提供等の支援を行っている。

(注) 在外公館で支援できないこと

- ・ 家族問題についての仲裁
- ・ もう一方の親に連れ去られた子の搜索、調査
- ・ 弁護士費用や訴訟費用の負担、貸付及びその保証
- ・ 裁判などでの通訳、裁判に関する資料の翻訳

## 日本語で相談できるDV被害者支援団体（在外公館と契約）

### アメリカ

[JAPANESE AMERICAN SOCIAL SERVICES, INC.](#) [在ニューヨーク日本国総領事館](#)

電話：212-442-1541（月曜日から金曜日 10時00分から17時00分）

[リトル東京サービスセンター](#) [在ロサンゼルス日本国総領事館](#)

電話：213-473-3035（月曜日から金曜日 9時00分から16時00分）

[JB Link, Inc.](#) [在ボストン日本国総領事館](#)

電話：781-296-1800（月曜日から金曜日 10時00分から16時00分）、メール: [help@jbline.org](mailto:help@jbline.org)

[アジア・アゲインスト・ドメスティック・アブュース \(AADA\)](#) [在ヒューストン日本国総領事館](#)

電話：713-339-8300（週7日24時間対応）

（注）月曜日・水曜日・金曜日：10時00分から16時00分、火曜日・木曜日：10時00分から14時00分のみ日本人スタッフ勤務

[ドメスティックバイオレンスアクションセンター \(DVAC\)](#) [在ホノルル日本国総領事館](#)

電話：808-531-3771（オアフ島）、800-690-6200（オアフ島外）

（月曜日から金曜日 8時30分から16時30分）

### カナダ

[ジャパニーズ・ソーシャル・サービス \(JSS\)](#) [在トロント日本国総領事館](#)

電話：416-385-9200（月曜日から金曜日 10時00分から12時00分、13時00分から18時00分）

[YWCA モンローハウス](#) [在バンクーバー日本国総領事館](#)

電話：604-209-1808（火曜日から木曜日 9時00分から17時00分）

### オーストラリア

[Bonnie Support Service](#) [在シドニー日本国総領事館 \(PDF\)](#)

電話：02-9729-0939、メール: [referral@bss.org.au](mailto:referral@bss.org.au)または[admin@bss.org.au](mailto:admin@bss.org.au)

（注）火曜日・水曜日：9時00分から16時30分、木曜日：9時00分から15時30分のみ日本人スタッフ勤務

[Immigrant Women's Support Service](#) [在ブリスベン日本国総領事館 \(PDF\)](#)

電話：07-3846-3490

（注）火曜日・水曜日：8時00分から16時00分、金曜日：13時00分から16時00分のみ日本人スタッフ勤務

### 英国

[Bromley & Croydon Women's Aid](#) [在英國日本国大使館](#)

電話：020-8313-9303、メール: [info@bcwa.org.uk](mailto:info@bcwa.org.uk)

（月曜日から金曜日 9時00分から16時30分）

### ドイツ

[frauenberatungsstelle düsseldorf e.V.](#) [在デュッセルドルフ日本国総領事館](#)

電話：0170-657-0130

（注）水曜日：14時00分から18時00分、木曜日・金曜日：10時00分から14時00分のみ日本人スタッフ勤務

【外務省海外安全HP→海外渡航/滞在→海外生活の悩み・家族問題→  
([https://www.mofa.go.jp/mofaj/ca/ha/page22\\_001736.html](https://www.mofa.go.jp/mofaj/ca/ha/page22_001736.html))】



# リスクと対策：健康

## 対策を準備する：健康リスクへの備え

### 出発前

- ◆ 最新の情報を収集。
  - 感染症・風土病
  - 衛生・医療事情
  - 現地の医療事情
  - 気候、時差の違い
- ◆ 予防接種。
- ◆ 渡航前の診察、常備薬・旅行用セットの準備。
- ◆ 十分な補償内容の海外旅行保険への加入（医療搬送費用を含め）。

### 現地到着後

- ◆ 最新の情報を収集。
- ◆ 体調を崩さない心がけ。
  - 適度な食事
  - 生水・生ものに注意
  - 十分な睡眠と休養
  - 無理のない旅行日程
- ◆ 定期的なヘルスチェック（メンタル含む）。
- ◆ 困ったときは頼れる人に相談。  
→ 日本大使館・総領事館への相談も可能。



### 帰国後

- ◆ 何らかの体調不良訴える方は、旅行者の数%。
- ◆ 思わぬ感染症が潜んでいる可能性があり、体調に異常や不安がある場合には、早めの医療機関受診が必要。

【参考】外務省海外安全HP

・医療事情（QR①）

・感染症危険情報（QR②）

厚生労働省検疫所FORTH（QR③）



外務省の取組／

外務省との協力体制

04

# 領事局（機構改革）

## 海外邦人緊急事態課（領緊）

現地の政情に関わる  
事案重大事故



戦争、内乱、政変、政情不安、  
暴動、反政府デモ 等  
事故（航空機事故、海上事故、  
鉄道事故 等）

自然災害



地震、津波、台風、  
ハリケーン、竜巻、豪雨、  
洪水、森林火災、土砂崩れ、  
火山噴火、隕石落下 等

テロ事件  
その他重大な犯罪事件



テロ、誘拐、人質、  
ハイジャック、海賊事案 等

危険情報



危険情報、緊急事態に  
関するスポット情報・  
広域情報  
（犯罪等に関する場合  
には領安）

## 海外邦人安全支援室（領安）

一般邦人援護



疾病・死亡事案、  
精神障害、困窮、  
家庭問題（DV） 等

事件・事故等



殺人、傷害、強盗・窃盗、  
詐欺（含：特殊詐欺）、  
薬物、売買春、入管法違反、  
性犯罪等  
犯罪被害者支援  
犯罪加害者

（含：被拘禁者支援）  
交通事故、レジャー事故  
（水難、滑落事故等） 等

海外安全対策に関する  
コミュニケーション



海外安全ホームページ、  
各種SNSを通じた情報発信、  
在留届・「たびレジ」広報 等  
ゴルゴ13海外安全対策マニュアル、  
各種安全対策セミナー、実地訓練、  
民間企業・教育関連機関等との  
連携等

孤独・孤立対策

実態の把握



所在調査、統計・調査

# 海外安全情報

## 危険情報（・感染症危険情報）

特に注意の必要な国・地域の現地情勢や安全対策の目安を4つのレベルに分けてお知らせ。

## 広域情報

複数の国や地域にまたがる広い範囲で注意が必要な情報をお知らせ。

## スポット情報

限定された期間、場所で生じた事件・事故などの情報を速報的にお知らせ。

現地大使館・総領事館からの  
注意喚起

各国の危険度

本省による  
注意喚起・安全情報

## 安全対策基礎データ

各国・地域の基礎情報。

現地公館による  
注意喚起・安全情報

現地大使館・総領事館からの  
安全情報

安全の手引き

テロ・誘拐情報

その他お役立ち情報

# 海外安全ホームページ



- ▶ 在留届を提出すると、安全情報をメールで受け取れるほか、緊急時の連絡、安否確認、支援などが受けられます

オンライン在留届へ

- ▶ 転出届提出の際に、在外選挙人証の登録ができます



- ▶ たびレジに登録すると、安全情報をメールで受け取れるほか、緊急時の連絡、安否確認、支援などが受けられます

[たびレジ登録へ](#)

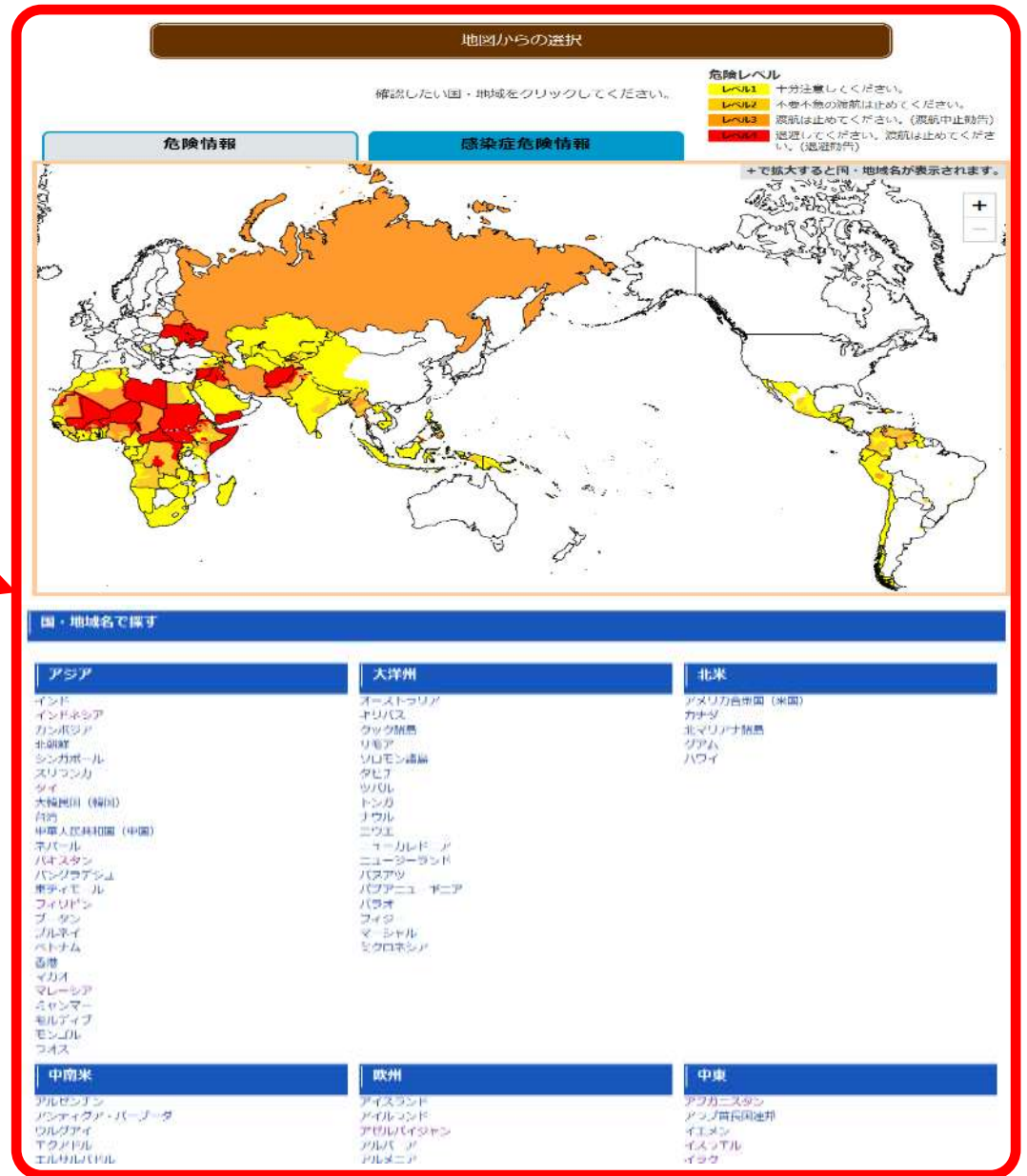
- ▶ その他、包括的な海外旅行安全情報は  
こちら



- ▶ 悩み相談ができる団体を紹介しています

### 相談窓口を確認

- ▶ DVや国境を越えた子の連れ去りに関する情報提供や支援を確認できます

[詳しく見る](#)



インドネシア  
危険・スポット・広域情報

① 危険情報

現在、危険情報が出ております。

現地図・地域表示

危険レベル別表示

危険情報

2024年01月04日

レベル2  
不要不急の渡航中止  
十分注意

【危険度】

●中部バプア州（ブンジャック・ジャヤ州、ミミカ州）  
レベル2：不要不急の渡航は止めてください。（後援）

●中部バプア州（ブンジャック・ジャヤ州、ミミカ州以外の地域）及び  
山南バプア州  
レベル2：不要不急の渡航は止めてください。（引き上げ）

●中部スラウェシ州（ボロネオ）  
レベル1：十分注意してください。（引き下げ）

●上記を除くすべての地域  
レベル1：十分注意してください。（後援）

【ポイント】

●中部バプア州及び山南バプア州においては、分離独立を求める反政府  
軍による治安当局等への襲撃事件が断続的に発生しており、治安が不安  
定な状況が続いています。同地域への不要不急の渡航は止めてく  
ださい。

●中部スラウェシ州（ボロネオ）においては、同県外に拠点を構える反  
政府軍に対する治安当局による掃討作戦が実施されてきました。  
2022年10月にインドネシア国軍が当該地域の軍政を公表して以  
降、テロ事件は発生していませんが、危険レベル1（十分注意）に  
引き上げます。

●南部ジャカルタを拠点とする各地において、政治、宗教、人種、労働  
・社会問題等に起因する小規模な抗議デモが発生しています。場  
合によっては、暴動に発展する可能性もありますので、こうした動きに  
対しては、引き続き十分注意してください。

危険情報の詳細はこちら

② スポット情報

※クリックすると詳細が表示されます

●【スポット情報】 2024年02月05日  
インドネシア：正副大統領選挙の実施に伴う注意喚起

③ 広域情報

※クリックすると詳細が表示されます

●【広域情報】 2024年08月16日  
感染症危険情報：エムボックスに関する注意喚起（「国際的に懸念  
される公衆衛生上の緊急事態（PHEIC）」の宣言）

●【広域情報】 2024年08月08日  
エムボックスに関する注意喚起

●【広域情報】 2024年07月12日  
デング熱に関する注意喚起（感染が疑われる場合、早期に医療機関  
を受診してください）

●【広域情報】 2024年04月16日  
ポリオの発生状況（ポリオ発生国に渡航する際は、追加の予防接種  
をご検討ください）（内容の変更）

●【広域情報】 2024年03月24日  
ロシアでのテロ事件を受けた海外渡航・滞在に関する注意喚起

●【広域情報】 2024年01月05日  
ガザ情勢を受けたテロの脅威に対する注意喚起

●【広域情報】 2023年08月16日  
東南アジア地域に関する海賊等事案に関する注意喚起

④ 現地大使館・総領事館等からの安全情報

※クリックすると詳細が表示されます

2024年09月29日 デンパサー市内における学生団体によるテ  
ロ事件（9月30日）  
国総領事館

2024年09月26日 【注意喚起】大規模デモ情報（メダン：9月  
在メダン日本国総領 26日）  
事案

2024年09月24日 デモ情報（ジャカルタ：9月24日）  
在インドネシア日本  
国大使館

すべての履歴はこちら

① 危険情報

渡航・滞在に当たって特に注意が必要と考えられる国・地域に発出される情報で、**中・長期的な観点**からその国の治安情勢を始めとした、政治社会情勢等を総合的に判断し、それぞれの国・地域に応じた**安全対策の目安**を4つのレベルに分けて表示。

レベル1

十分注意してください。

レベル2

不要不急の渡航は止めてください。

レベル3

渡航は止めてください。（渡航中止勧告）

レベル4

退避してください。渡航は止めてください。（退避勧告）

① 感染症危険情報

渡航・滞在に当たって特に注意が必要と考えられる国・地域に発出される情報で、世界保健機関（WHO）等国際機関の対応や、発生国・地域の流行状況、主要国の対応等を総合的に勘案し、それぞれの国・地域に応じた**感染症対策の目安**を4つのレベルに分けて表示。

レベル1

十分注意してください。

レベル2

不要不急の渡航は止めてください。

レベル3

渡航は止めてください。（渡航中止勧告）

レベル4

退避してください。渡航は止めてください。（退避勧告）

32



インドネシア  
危険・スポット・広域情報

1

2

3

### 危険情報

現在、危険情報が出ております。

周辺国・地域表示



危険レベル別概要

2024年01月04日

レベル2  
不要不急の活動中は
レベル1  
十分注意

【危険地帯】

- 中東ババア州（ブンジャック・ジャヤラ、ミミカ州）  
レベル2・不要不急の活動は控えてください。（継続）
- 中東ババア州（ブンジャック・ジャヤラ、ミミカ州以外の地域）及び  
山岳ババア州  
レベル2・不要不急の活動は控えてください。（引き上げ）
- 中東スラウェシ州バボロ
- レベル1・十分注意してください。（引き下げ）
- 上記を除くすべての地域  
レベル1・十分注意してください。（継続）

【ポイント】

- 中東ババア州及び山岳ババア州においては、分離独立を求める民族系  
間による治安当局への襲撃事件が数発的に発生しており、治安が不安  
定な状況が続いています。同地域への不要不急の活動は控えてく  
ださい。
- 中東スラウェシ州バボロにおいては、同県外に拠点を構えるイスラ  
ム派に対する治安当局による掃討作戦が実施されてきました。  
2022年10月にインドネシア国家警察が当該組織の拠点を公表して以  
来、テロ事件は発生していませんが、危険レベル1（十分注意）に  
引き上げます。
- 首都ジャカルタを始めとする各地において、政治、宗教、人種、男  
性・社会的弱者等に関する大小様々な抗議デモが発生しています。場  
合によっては、暴動に発展する可能性もありますので、こうした動きに  
対しても、引き続き十分注意してください。

危険情報の詳細はこちら

### スポット情報

※クリックすると詳細が表示されます。

- ◆【スポット情報】 2024年02月05日  
インドネシア・正副大統領選挙等の実施に伴う注意喚起

4

### 広域情報

※クリックすると詳細が表示されます。

- 【広域情報】 2024年08月16日  
感染拡大の恐れ：エムボックスに関する注意喚起（「国際的に懸念  
される公衆衛生上の緊急事態（PHEIC）」の宣言）
- 【広域情報】 2024年08月08日  
エムボックスに関する注意喚起
- 【広域情報】 2024年07月12日  
デング熱に関する注意喚起（感染が疑われる場合、早期に医療機関  
を受診してください）
- 【広域情報】 2024年04月16日  
ボリオの発生状況（ボリオ発生時に、運航する際は、泊地の予防接種  
を「待ってください」。（予防の準備））
- 【広域情報】 2024年03月24日  
ロシアでのテロ事件を受けた海外滞航・滞在に関する注意喚起
- 【広域情報】 2024年01月05日  
刀傷窃盗等を受けたデモの被害に対する注意喚起
- 【広域情報】 2023年08月16日  
東南アジア海域における海賊等事案に関する注意喚起

4

### 現地大使館・総領事館等からの安全情報

※クリックすると詳細が表示されます。

- 2024年09月29日 デン（サーラール市内における学生団体によるデ  
ンデン（サーラール）日本 国（9月30日）  
国総領事館
- 2024年09月26日 【注意喚起】 大規模デモ情報（メダン：9月  
在メダン日本国総領 26日）  
事館
- 2024年09月24日 デモ情報（ジャカルタ：9月24日）  
在インドネシア日本  
国大使館

すべての履歴はこちら

## ② スポット情報

特定の国や地域において日本人の安全に関わる重要な事案が生じた際、あるいは生じる可能性がある場合に**速報的**に出される情報。治安の急激な悪化、突発的な事件、自然災害の発生、感染症の発生、テロの可能性の高まり、凶悪・重大犯罪の増加など、発出される内容は多岐にわたる。 ※本省から発信

### ③ 広域情報

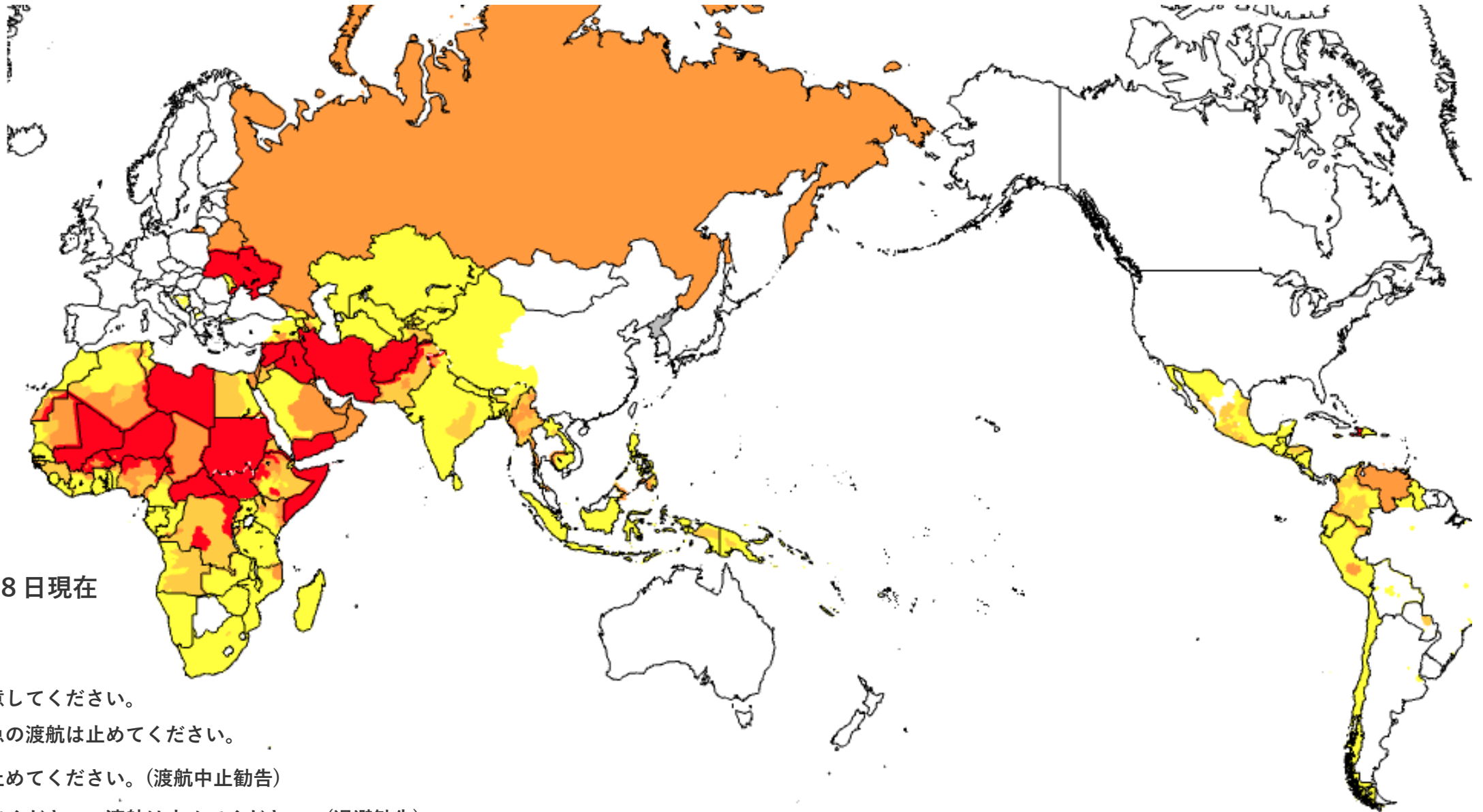
**複数の国や地域**にまたがる広い範囲で注意が必要な情報をお知らせするもの。  
特に、国際テロ組織の動向に関する情報等は、特定の国や地域に限定できない  
場合が多いことから、「広域情報」で広く注意を呼びかける場合が一般的。

**※本省から発信**

#### ④ 現地大使館・総領事館等からの安全情報（領事メール）

各国の日本国大使館・総領事館等から送られる、主に**在留邦人向け**の最新の安全情報。大規模な事件・事故、テロ、自然災害等の緊急事態が発生した場合、緊急事態の発生をメール等で通知。海外安全ホームページに掲載されている危険情報・スポット情報・広域情報の更新も通知。

# 海外安全ホームページ：① 危険情報



令和8年5月18日現在

危険レベル

- レベル1 十分注意してください。
- レベル2 不要不急の渡航は止めてください。
- レベル3 渡航は止めてください。(渡航中止勧告)
- レベル4 退避してください。渡航は止めてください。(退避勧告)

# 海外安全ホームページ：① 危険情報（機動的対応）

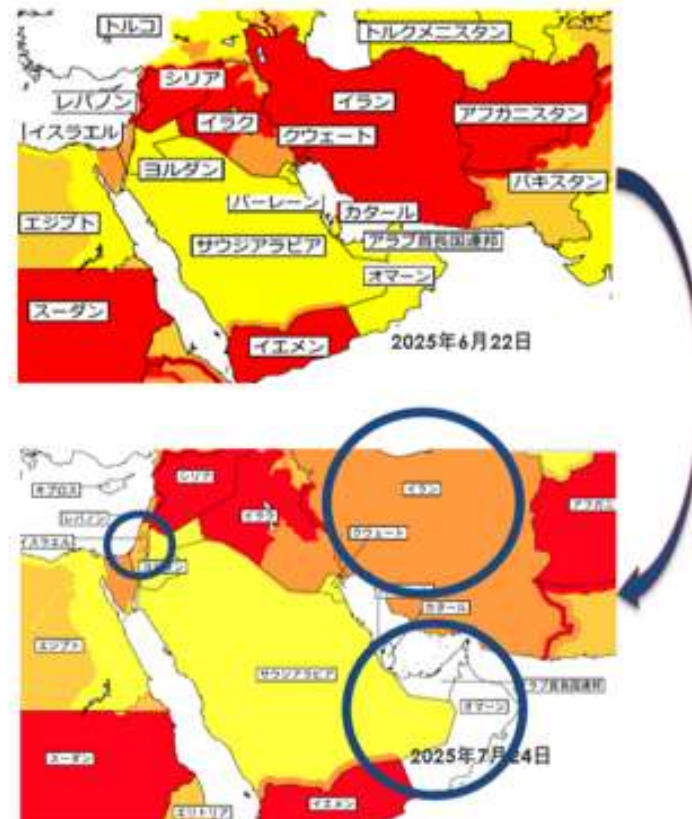
国内・地域情勢の悪化等により危険レベルを引き上げて邦人に注意喚起を行っているが、情勢の沈静化等を見極めつつ、適時に見直しを行っているところ。

## 2025年の例

### イスラエル・イラン紛争時の例

- 6月13日、イスラエルによるイランへの攻撃を踏まえ、**イラン及びイスラエルの危険レベルを引上げ**（全土をレベル3以上に）
- 6月17日、**イランの危険レベルを全土レベル4（退避勧告）に引上げ**
- 6月22日、米国によるイラン攻撃を踏まえ、**UAE、オマーン、カタールの危険レベルを1に引上げ**
- 7月24日、イスラエル・イランの停戦合意後の情勢を踏まえ、**イスラエル（国境地域などを除きレベル2に）及びイラン（一部国境地域を除きレベル3に）の危険レベルを引下げ、UAE、オマーン、カタールの危険レベルを解除**

レベル1: 十分注意してください  
レベル2: 不要不急の渡航は止めてください  
レベル3: 渡航は止めてください  
レベル4: 退避してください



## 2026年の例

### 湾岸諸国等の危険情報の例

※湾岸諸国等：

UAE、オマーン、カタール、クウェート、サウジアラビア（一部）、バーレーン、ヨルダン（一部）

- 湾岸諸国等について、3月5日付または同9日付で**危険レベルを3（渡航中止勧告）に引き上げ**。
- 5月13日、湾岸諸国等について、**渡航中止勧告（レベル3）を維持しつつ**、当該各国の復旧・復興に寄与する企業・団体の取組等、真にやむを得ない事情で渡航・滞在することは妨げないとの趣旨で「**ただし書き**」を追記。



# 海外安全ホームページ：② スポット情報

**概要**

特定の国や地域において日本人の安全に関わる重要な事案が生じた際、あるいは生じる可能性がある場合に**速報的**に出される情報。

**目的**

渡航・滞在時の安全対策やトラブル回避の観点から、知っておく必要があると思われる事案について、個々に情報提供。

✓ 中には危険情報の内容更新（場合によっては、危険情報のレベルの引き上げ）に繋がるものも。

分類例	事例
治安の急激な悪化	» A国における過激デモの発生 » B国における全国規模のストライキ
突発的な事件	» C国（D州）における武装強盗事件 » E国（F市）における連続爆弾事件
自然災害の発生	» G国（H地方）での大雨被害 » I島の台風被害
感染症の発生	» SARSの集団発生（J、K、L、M国） » N国での西ナイル脳炎の流行
テロの可能性の高まり	» S国におけるテロ攻撃の脅威 » T国政府によるテロ攻撃の警告レベルの引き上げ
凶悪・重大犯罪の増加	» U国における外国人をねらった強盗事件の多発 » Y国における連続睡眠薬強盗事件の発生 » W国におけるスキンヘッドグループによる外国人暴行事件の多発

**危険情報**

危険を及ぼす事案がある程度継続していることが一つの基準。

**スポット情報**

「危険情報」と同様、あるいはそれ以上の危険な状況を伝える手段としても、用いることも。

**危険情報との関係**

**危突発的な事件が発生した際は**

(1) 「スポット情報」により速報として事実を発信するとともに注意喚起  
(2) 情勢を見ながら必要な場合には「危険情報」の内容更新（場合によっては、危険情報のレベルの引き上げ）

## デモに対する注意喚起の例

### マダガスカルにおける抗議デモに関する注意喚起

2025年09月29日

#### 【ポイント】

- マダガスカルにおいて、国内各地で継続する停電、断水に対する抗議デモが連日実施されています。
- 治安機関とデモ隊との間で激しい衝突が発生したことから、今後、抗議デモがさらに激化・長期化する可能性も排除できません。
- 治安機関との衝突に加えて、一部でデモに乗じた略奪等が起きていることから、不要不急の外出は控え、公共施設等の周辺に近づかないようご注意ください。
- マダガスカルに滞在中の方におかれては、最新情報を入手して自らの安全確保に努めるとともに、水や食料、燃料等の備蓄についてご確認ください。困ったことや、ご支援が必要なことがあればマダガスカル日本国大使館にご連絡ください。
- マダガスカルへの渡航を検討されている方におかれては、不要不急の渡航は延期することをお勧めします。

#### 【内容】

- 1 9月25日（木）にマダガスカル首都アンタナナリボで、停電、断水に抗議する学生等による大規模デモが行われました。その際、治安機関とデモ隊が衝突する事態が起きました。その後、国内各地において公共施設や商業施設等を対象とした放火や略奪行為が行われ、複数の死傷者が出る事態が発生しました。
- 2 今後、抗議デモがさらに激化・長期化するおそれがあります。また、治安機関とデモ隊との間の衝突に加えて、一部のデモに乗じた略奪等が起きている。マダガスカルに滞在中の方におかれては、不要不急の外出は控え、公共施設等の周辺に近づかないようご注意ください。また、外出の際は不測の事態に巻き込まれないよう十分に注意し、万が一、デモや集会の現場に居合わせた場合には、すぐにその場を離れ、自らの安全の確保をお願いします。また、水や食料、燃料等の備蓄についてご確認ください。困ったことや、ご支援が必要なことがあればマダガスカル日本国大使館にご連絡ください。
- 3 マダガスカルへの渡航を検討されている方におかれては、不要不急の渡航は延期することをお勧めします。
- 4 海外渡航前には万が一に備え、家族や友人、職場等に日程や渡航先での連絡先を伝えておくようにしてください。

## テロ事案に伴う注意喚起の例

### インド・パキスタン間の緊張の高まりに伴う注意喚起

2025年05月07日

#### 【ポイント】

- 4月22日（火）、インド北部ジャンム・カシミール準州のパハルガム近郊で、外国人観光客を含む民間人26名が死亡するテロ事案が発生しました。
- 5月7日（水）、インド政府は、パキスタン及び同国支配地域内のテロリストの拠点9か所を攻撃した旨を発表しました。
- こうした一連の動きにより、インド・パキスタン両国の緊張が高まっており、今後も不測の事態が発生する可能性があるため、最新の情報を入手し安全確保に努めてください。
- また、外務省は、カシミール地方の一部には、以前から危険レベル4（退避勧告）又はレベル3（渡航中止勧告）を発出しています。この地域への渡航はやめてください。また、レベル4の地域に既に滞在されている方は、退避してください。

#### 【内容】

- 1 4月22日、インド北部ジャンム・カシミール準州のパハルガム（Pahalgam）近郊で、外国人観光客を含む民間人に対する銃撃により、少なくとも26名が死亡するテロ事案が発生しました。
- 2 5月7日、インド政府は、上記テロ事案を受けて、インドに対するテロ攻撃が計画されてきたパキスタン及び同国支配地域内の9か所のテロリストの拠点を攻撃した旨を発表しました。この攻撃により死傷者が出ている模様です。



📌 どんな場合に「広域情報」が出されるか

基本構成	これまでの事例	対象地域
国際テロ組織の動向 防犯対策	A国における過激デモの発生	全世界
	テロ攻撃に関する米国務省の警告	全世界
	中東地域におけるテロ攻撃の危険	中東
	東アフリカにおけるテロ攻撃等に関する米国務省の警告	東アフリカ地域
国際的な犯罪事件	国際的詐欺事件の多発	全世界
	海賊被害に関する注意	東南アジア
	日本人が外国人の不法出入国を幫助する事案の増加	ヨーロッパ他
感染症等の広域発生	重症急性呼吸器症候群（SARS）の集団発生	感染国・地域

# 海外安全ホームページ：④ 現地大使館・総領事館等からの安全情報（領事メール）

## 事件の例

### 領事メール

緊急

一般

発出日時：

2025年05月13日 19:05

公館名：

在フィリピン日本国大使館

### 邦人に対する強盗事件の発生（5月9日夜：マニラ首都圏マカティ市の路上）

- 5月9日（金）午後8時20分頃、マニラ首都圏マカティ市の路上において、邦人に対する拳銃のようなものを使用した強盗事件が発生しました。
- 被害者の邦人1名がマカティ市サルセド・ビレッジ・L.P.レビスデ通り（ギャラード通り付近）の飲食店にて飲食中、携帯が鳴ったため店外に出て路上で通話していたところ、突然2人乗りバイクが近づいてきて、犯人の1人がバイクを降り、拳銃のようなものを向けながら被害者に近づき、ウェストポーチを強奪しました。その後、被害者は手元の携帯は渡さない素振りを見せたところ、犯人は拳銃のようなものを被害者の頭部へ突きつけ、携帯も渡すよう脅したため、被害者は携帯を犯人に渡しました。
- 在留邦人の皆様や旅行者・出張者の皆様におかれては、引き続き次の注意喚起（日本外務省スポット情報）にご留意いただき、高い防犯意識を持つようお願いします。  
[https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcspotinfo\\_2025C019.html](https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcspotinfo_2025C019.html)
- 強盗に遭った際には、身の安全を第一に考え、絶対に抵抗しないでください。

### 領事メール

緊急

一般

発出日時：

2025年05月19日 00:30

公館名：

在デュッセルドルフ日本国  
総領事館

### 【安全情報】 ビーレフェルト市内で刃物襲撃事件。犯人逃走中

- 本18日（日）早朝04:20頃、ノルトライン=ヴェストファーレン州のビーレフェルト市中心部のバーで鋭利な刃物状の凶器による刺傷事案が発生しました。少なくとも5名が負傷し、その内3名は重症とのことです。治安当局の発表によれば、被疑者は現在も逃走中であり、犯行動機等は不明とのことです。
- 治安当局によれば、被疑者は身長165-170センチ位の南国風の男性で、頭にベースボールキャップをかぶっており、白いTシャツの上に青乃至黒のノースフェイスの上着を着用していたとのことです。
- 治安当局によれば、被疑者はまだ凶器を所持している恐れがあり、また、他の場所に逃走している可能性も排除されませんので、報道等に気をつけながら、外出の際に不審な人物を見かけた場合には、すぐその場を離れる、警察に通報するなど、安全に十分注意して行動してください。

# 「たびレジ」と在留届 - 海外における『命綱』 -



「たびレジ」及び在留届の登録データは、大規模自然災害・事故等の緊急事態発生時に行われる

在留邦人の **安否確認を行う際に、重要な基礎資料の1つ** として利用されます。

# 官民合同実地訓練（簡易版国内訓練、国外版）、海外安全対策セミナー

## 2025年度の実施実績

- 簡易版国内訓練では、テロ、誘拐、無差別襲撃、強盗などを対象リスクとして、座学、実技、ロールプレイを通じて、自ら身を守る知識や組織における危機管理体制の強化に活用できる知識・技能を習得。



- 国外版は、銃声を再現したり、誘拐犯による襲撃も再現する等、本格的なフィールド型訓練を実施。



- セミナーは、国内各地において、企業関係者や教育機関関係者向けに、政府関係者及び危機管理専門家による最新のテロ・一般治安情勢、危機管理体制等に関する情報を提供。

セミナー終了後に個別相談会も実施します。

### ○国内訓練第1回：

1月29日（木）13：30～16：30

会場：三田共用会議所（東京都）

### ○国内訓練第2回：

2月12日（木）13：30～16：30

会場：難波御堂筋ホール（大阪府）

### ○国外訓練（インドネシア）

第1回 12月8日～9日、

第2回 12月10日～11日

### ○海外安全対策セミナー

2025年 9月25日 名古屋（企業）

10月28日 仙台（企業）

11月20日 東京（教育）

12月4日 広島（企業）

2026年 1月16日 大阪（教育）

1月19日 大阪（企業）

2月13日 東京（企業）







©さいとう・たかを

# × 外務省

## 中堅・中小企業向け 海外**安全対策**マニュアル

『ゴルゴ13の海外安全対策マニュアル』（冊子版）は、安全対策の検討に活用いただくという目的であれば、提供可能ですのでご相談下さい。

郵送を希望される場合は、[ryouan-keihatsu@mofa.go.jp](mailto:ryouan-keihatsu@mofa.go.jp) まで下記情報をお送りください。

（※送料は着払いとさせていただきますので予めご了承ください。）

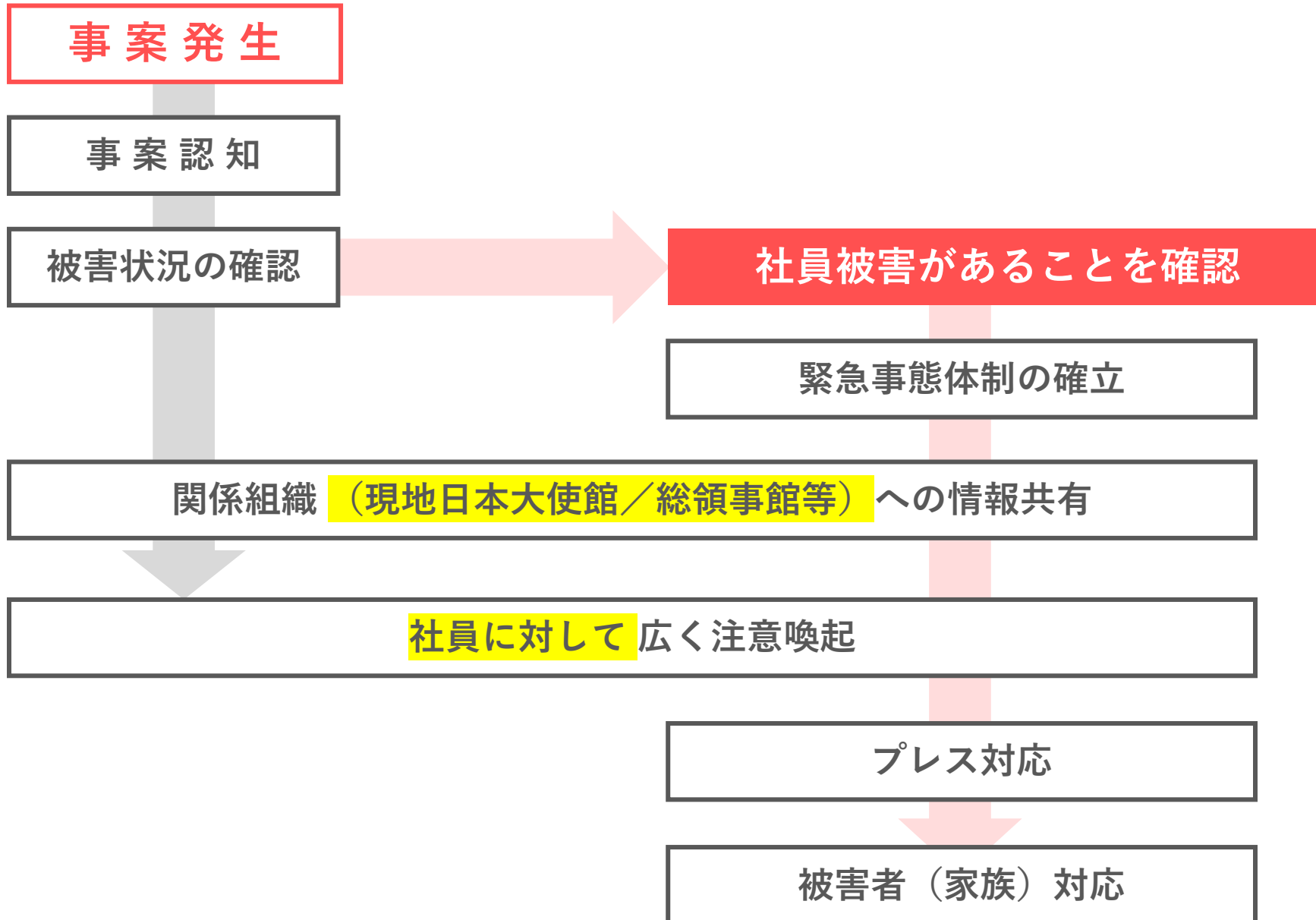
●氏名 ●送付先住所 ●電話番号 ●冊子の利用目的 ●必要部数



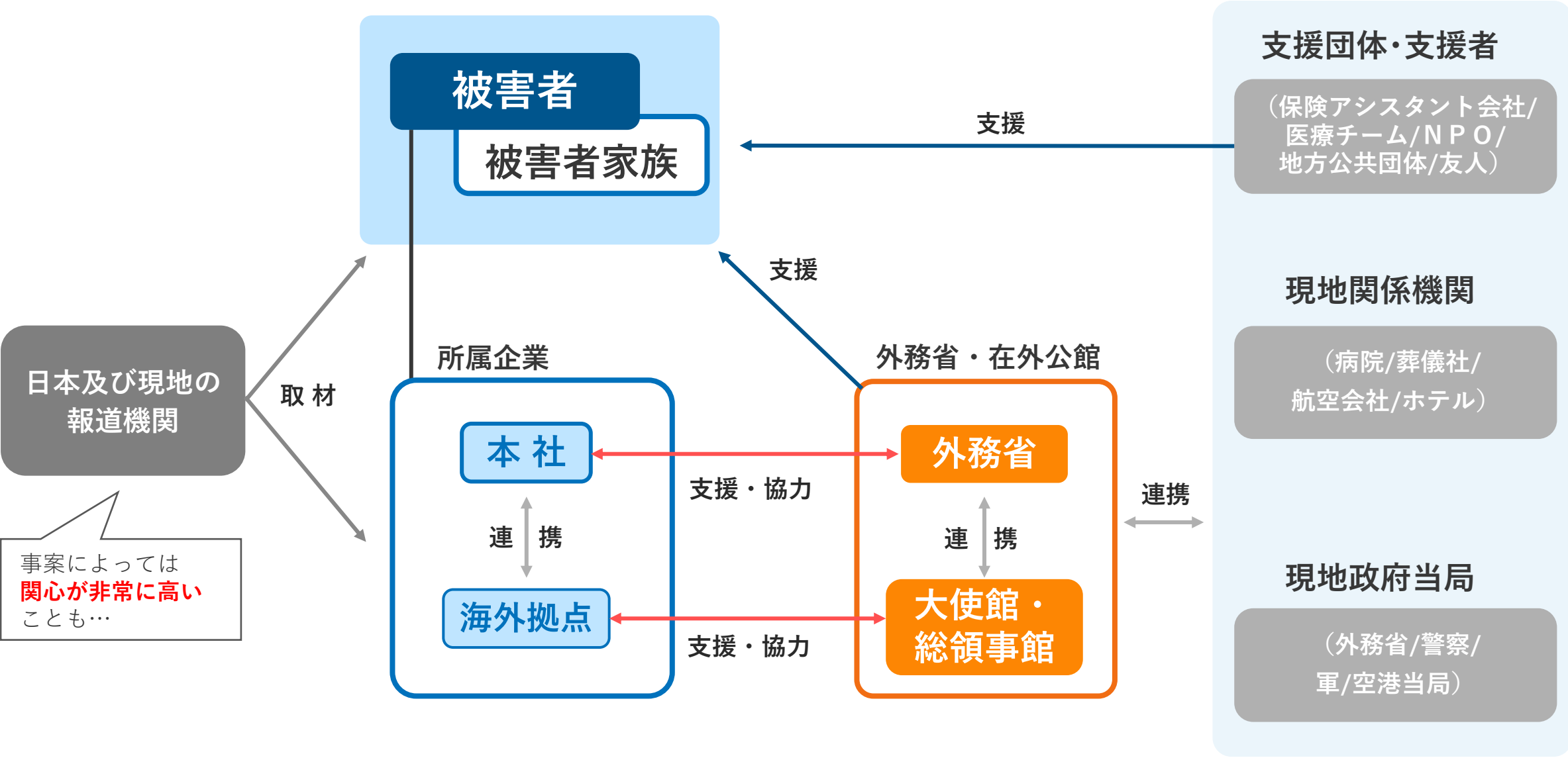
ゴルゴマニュアルは  
こちらから



# 事案発生時の大まかな流れ



# 被害が発生した場合の対応



# 連 絡 先

---

在外公館、本省ともに 24時間 365日対応

【 在外公館 】 <https://www.mofa.go.jp/mofaj/annai/zaigai/list/>

【 本 省 】 外務省代表 ☎ 03-3580-3311

※夜間・休日は外部委託業者が受け、担当部署に連絡します。

海外安全対策に関するご相談は [ryouan-keihatsu@mofa.go.jp](mailto:ryouan-keihatsu@mofa.go.jp)  
でも承ります。

国別安全情報等

領事サービスセンター  
(海外安全担当) (内線2902)

「たびレジ」広報、ゴルゴマニュアル

海外邦人安全支援室  
(内線3047)

# 各種SNS

## ①LINE



海外安全情報のほか、国内セミナーや官民合同テロ・誘拐対策実地訓練のお知らせ、『ゴルゴ13の海外安全対策マニュアル』から印象的な1コマを抜き出し、解説を加えながら配信する「ゴルゴの一言」など、安全対策に役立つ最新情報を発信中！

## ②Instagram



「たびレジ」のInstagramアカウント。

実際に「たびレジ」に登録をしていたことで役に立ったエピソード、国別の安全対策や旅行ガイドなど、海外渡航に役立つ最新情報を発信中！

## ③Voicy



とは 日本発の音声プラットフォームで、国内最大級の音声メディアです。

海外で安全に過ごす秘けつを声でご紹介するチャンネルを始めました。

外務省領事局海外邦人安全課（通称りょーあん）のスタッフが最新の海外安全情報をお届けし、あなたの安全な海外滞在をサポートします。インプットを重ねて安全感度を高めませんか？週1～2回の頻度で配信中！

最新の海外安全ニュース、今週のとおき情報、クイズ、国別情報など役立つ情報が盛りだくさん。